

2021年度 学修状況・達成度調査 報告書

2022 年 7 月 25 日作成

概 要

はじめに：本調査は2017（H29）年度から実施しており2021（R3）年度も継続し、5年目となる。

目的：学生生活での人間形成や学修状況を学生が自己評価し、その内容から大学の教務・学修状況の向上を検討する。

方法：Office365のFormsによるWEBでの調査。調査期間は2022年3月3日～28日。

対象：2021年度在学中で、休学を除いた235人。

結果：

1. 回収率 ； **66.4%**（156人/235人中）、PT70%、OT64 %、RP58%、1年72%、2年72%、3年77%、4年45%
回収率向上には調査時期、対面による回収への変更が必要。

単純集計2018～2021年度別変化・学年別の変化

2. 共通科目の4単位以上の取得は、全学年の2018年度から2021年度の4年間で「社会科学」「人文科学」は増加傾向、「自然科学」は微増、「外国語」は著変なしであった。
3. 「専門基礎分野」36単位以上取得は、全学年の2018年度から2021年度の4年間で増加傾向であり、特に3年生、4年生が増加を示した。
4. 「専門分野」68単位以上取得は、全学年の2020年度、2021年度に増加しており、特に4年生が著しかった。

概要2

5. 各項目の最頻値は「他者への関わり」が「②少数友人いる」、「多様な社会への関心」が「②時々ニュースを見る」、「思考・判断」が「③少しのアドバイスで理解判断できる」、「態度」が「③自分の良心と社会的ルールで行動可」、「表現」が「③自分から進んでの発言は多くない」、「レポート作成能力」が「③グラフや図の工夫を自分で行う＋自分の考えを文章表現可」、「情報リテラシー」が「⑤pptで発表資料作成可能＋文献検索のDL可能」、「学習時間」が「③1日平均1時間以上2時間未満」であった。
4年間の回答において「態度」は④⑤、「表現」は⑤の高レベルにおいて増加、「情報リテラシー」は⑤の高レベルで増加した。

2021年度の単純集計、クロス集計図表

6. 「専門基礎分野」「専門分野」の単位取得は、当然のことながら学年の進行に応じている。
7. 「他者への関わり」「思考・判断・生活で直面する問題」「日頃他者にとっての態度」の高（低）いレベルでの回答は、他の項目でも高（低）いレベルを回答していた。特に「レポート作成能力」「日頃の学習時間」「自己表現」では明らかにその関連を示した。
8. 学生生活での悩み（有／少し有）は将来のキャリア72%、授業・成績等64%、学費等51%であった。
9. 悩みの相談先（良く／時々）は学内の友人78%、保護者など60%、学外の友人58%であった。
10. 学籍異動について「真剣に／時々」考えたは、転専攻13%、休学6%、退学14%であった

学生からの質問・自由記載項目及び回答（略）

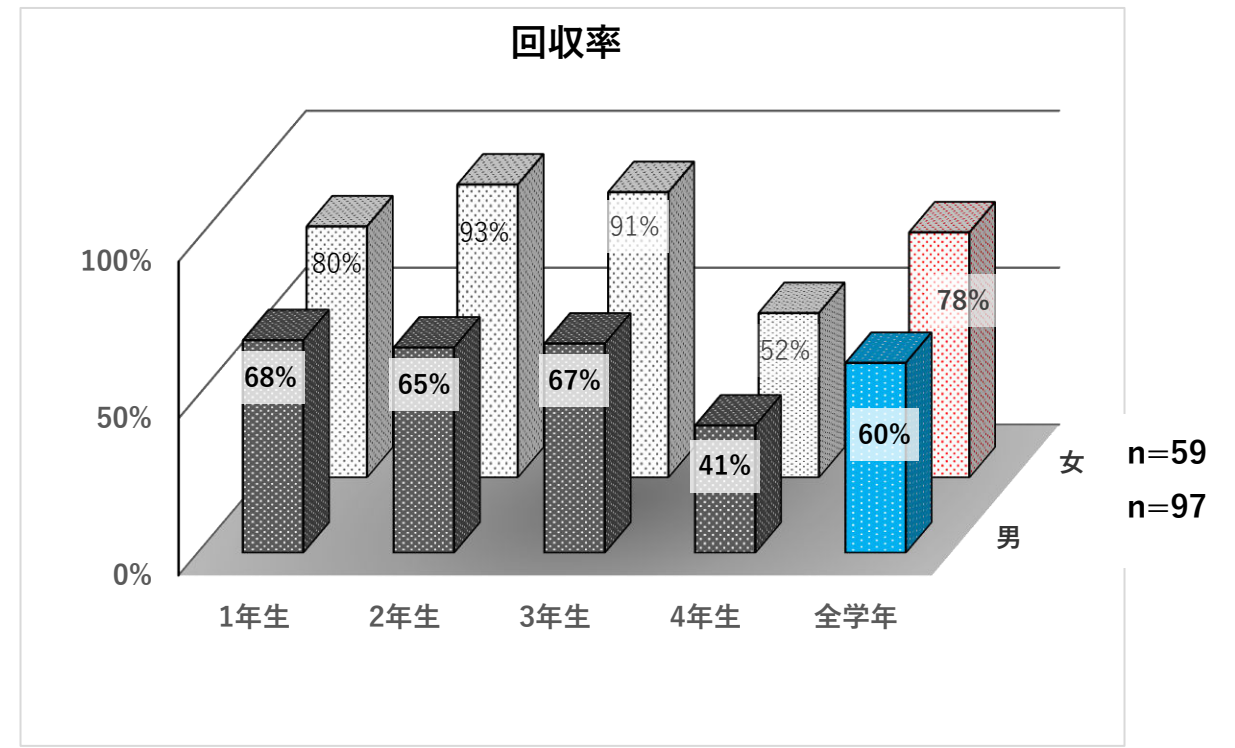
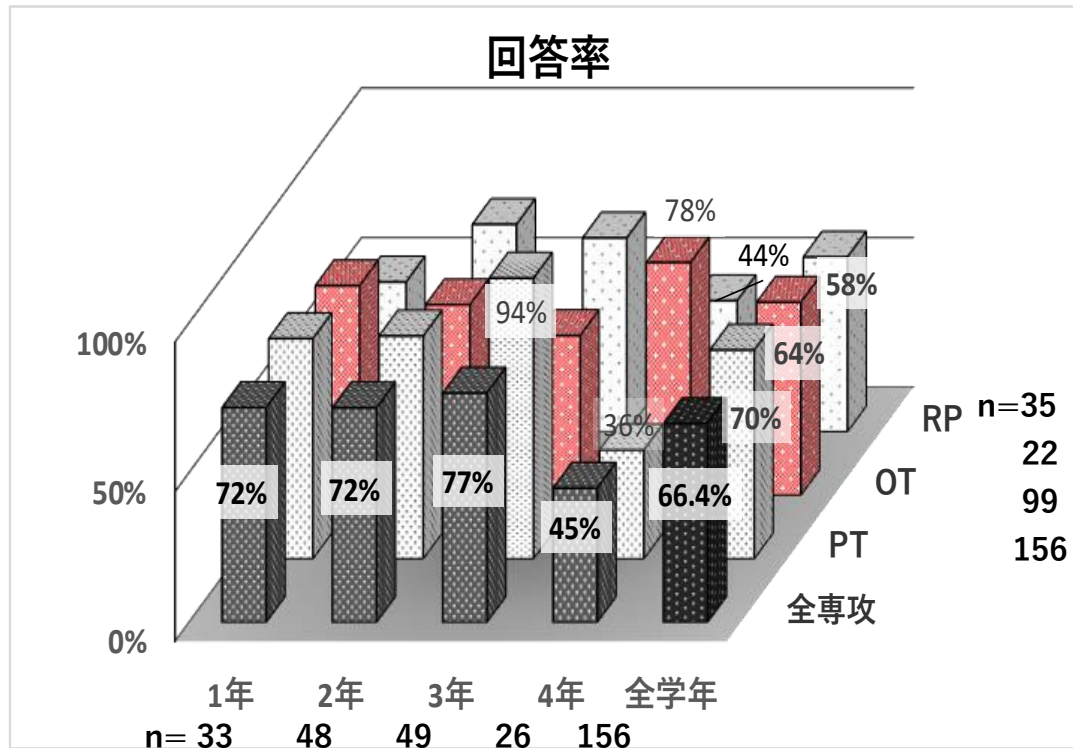
目次

概要	1	「他者への関わり」「多様な社会への関心」「思考・判断」「態度」	23
回収率	4		
I.単純集計、2018～2021年度別・学年別の変化			
人文科学分野	6	「情報リテラシー」「レポート作成能力」「学習時間」「自己表現」	24
自然科学分野	7		
社会科学分野	8	「他者への関わり」で友人の「いない/少ない」と「多い」に2分類した場合の他の項目比較	25
外国語分野	9		
専門基礎分野	10	他者への関わり、社会への関心などを2/3/4分類して、他の項目との関連をカイ二乗検定の一覧	26
専門分野	11		
他者への関わり	12	オンライン授業(オンデマンド型授業、双方向型授業)全体の満足度	28
多様な社会への関心	13		
思考・判断	14	オンデマンド型授業、双方向型授業における「良い」「どちらでもない」「悪い」の満足度	29
態度	15		
自己表現	16	学生生活に悩みがあるか。悩みや不安の相談先はどちらか。	30
レポート作成能力	17		
情報リテラシー	18		
学習時間	19	転専攻・休学・退学について考えたことは	31
		転専攻・休学・退学について考えた最大の理由は	32
II.2021年度の単純集計、クロス集計図表			
単位取得状況「教養分野」	21		
単位取得状況「専門基礎分野」「専門分野」	22		
		III.学生からの質問・意見および各部署からの回答について	

回収率

■ 回収率：66.4% (156/235人)

- ・ 4年生が極端に少ない
- ・ 男性は女性より少ない



単純集計

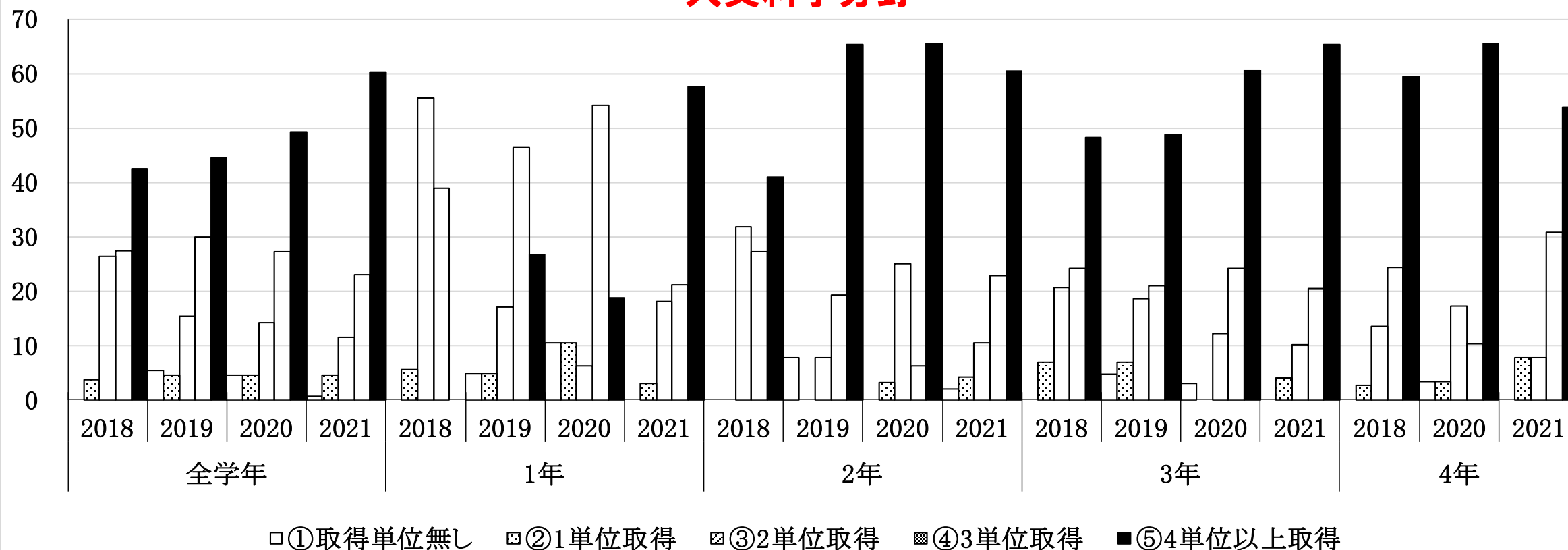
2018～2021年度別変化・学年別の変化

注1: 本学の教育課程(カリキュラム)は、2018年度(4年生)、2019年度(3年生)入学生と2020年度以降(2年生、1年生)の入学生で異なっている。

今まで取得した人文科学分野の単位取得状況について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①取得単位無し	0	5	5	1	0	5	10	0	0	8	0	2	0	5	3	0	0	3	0
②1単位取得	4	5	5	4	6	5	10	3	0	0	3	4	7	7	0	4	3	3	8
③2単位取得	26	15	14	12	56	17	6	18	32	8	25	10	21	19	12	10	14	17	8
④3単位取得	27	30	27	23	39	46	54	21	27	19	6	23	24	21	24	20	24	10	31
⑤4単位以上取得	42	45	49	60	0	27	19	58	41	65	66	60	48	49	61	65	59	66	54
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

人文科学分野

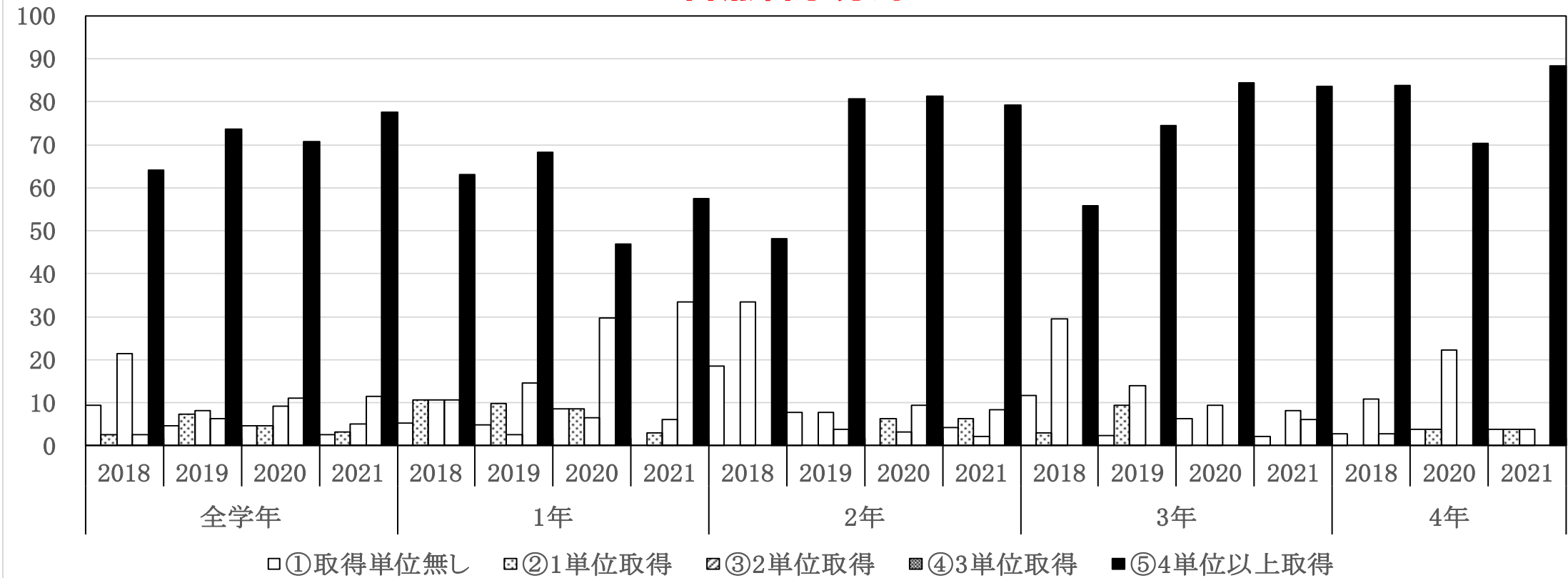


全学年の4単位以上の取得は、年々増加している。特に2021年度の1年生が著しく増加した。2年生になると4単位取得が約60%以上に達していた。

今まで取得した**自然科学分野の単位取得状況**について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①取得単位無し	9	5	5	3	5	5	9	0	19	8	0	4	12	2	6	2	3	4	4
②1単位取得	3	7	5	3	11	10	9	3	0	0	6	6	3	9	0	0	0	4	4
③2単位取得	21	8	9	5	11	2	6	6	33	8	3	2	29	14	9	8	11	22	4
④3単位取得	3	6	11	12	11	15	30	33	0	4	9	8	0	0	0	6	3	0	0
⑤4単位以上取得	64	74	71	78	63	68	47	58	48	81	81	79	56	74	84	84	84	70	88
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

自然科学分野

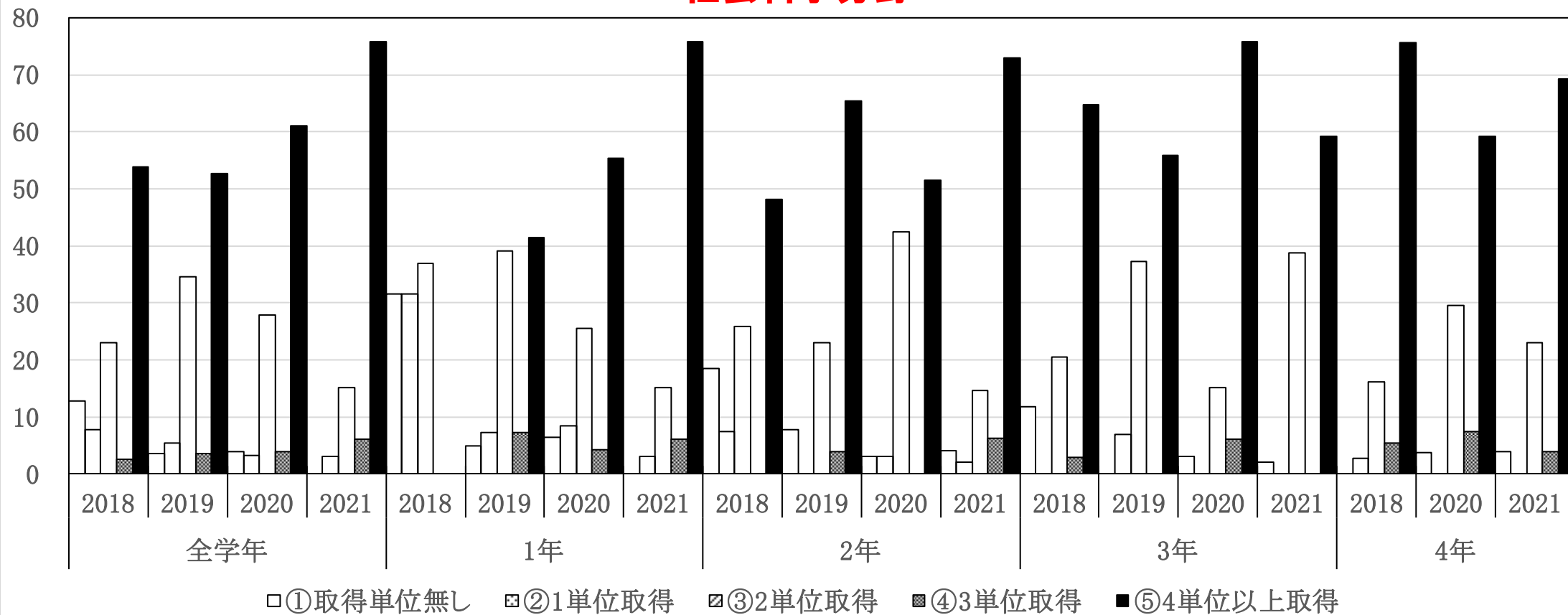


全学年の4単位以上の取得は、大きな変化はない。全学年においても約8割が4単位以上を取得している。

今まで取得した**社会科学分野の単位取得状況**について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①取得単位無し	13	4	4	0	32	5	6	0	19	8	3	4	12	0	3	2	0	4	4
②1単位取得	8	5	3	3	32	7	9	3	7	0	3	2	0	7	0	0	3	0	0
③2単位取得	23	35	28	15	37	39	26	15	26	23	42	15	21	37	15	39	16	30	23
④3単位取得	3	4	4	6	0	7	4	6	0	4	0	6	3	0	6	0	5	7	4
⑤4単位以上取得	54	53	61	76	0	41	55	76	48	65	52	73	65	56	76	59	76	59	69
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

社会科学分野

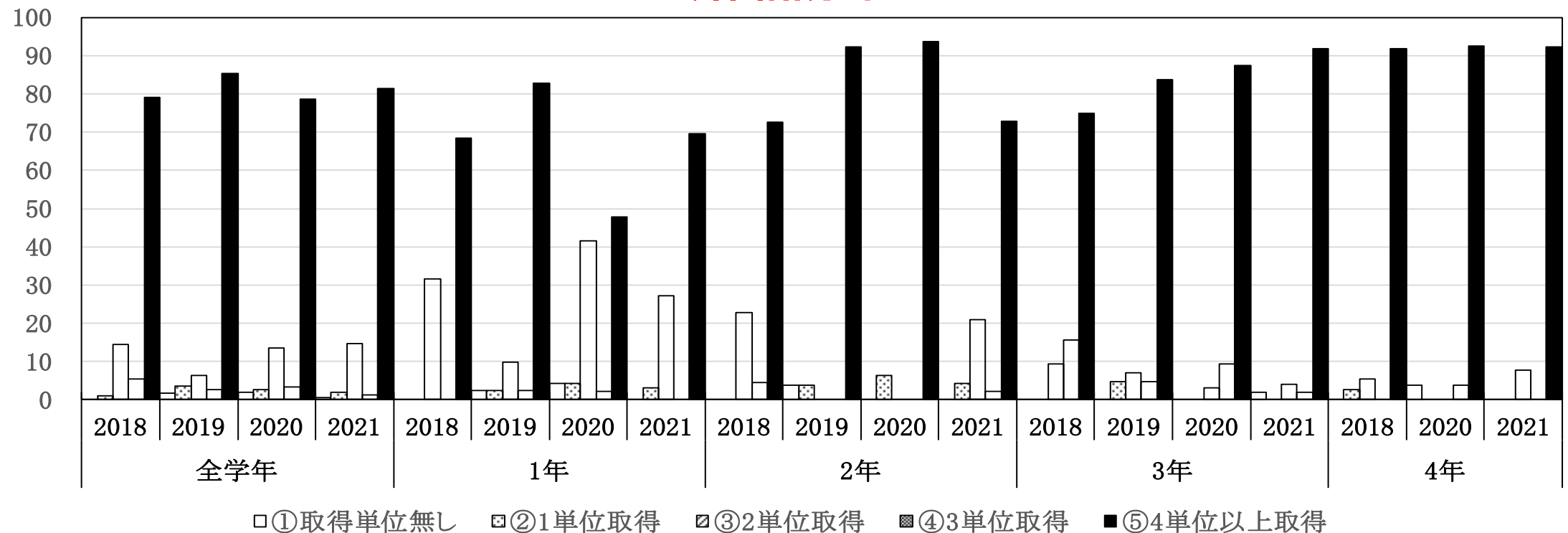


全学年、1年生において4単位以上の取得は、年々増加している。この変化は前出の「人文科学分野」と似ている。

今まで取得した**外国語分野の単位取得状況**について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①取得単位無し	0	2	2	1	0	2	4	0	0	4	0	0	0	0	0	2	0	4	0
②1単位取得	1	4	3	2	0	2	4	3	0	4	6	4	0	5	0	0	3	0	0
③2単位取得	15	6	14	15	32	10	42	27	23	0	0	21	9	7	3	4	5	0	8
④3単位取得	5	3	3	1	0	2	2	0	5	0	0	2	16	5	9	2	0	4	0
⑤4単位以上取得	79	85	79	81	68	83	48	70	73	92	94	73	75	84	88	92	92	93	92
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

外国語分野

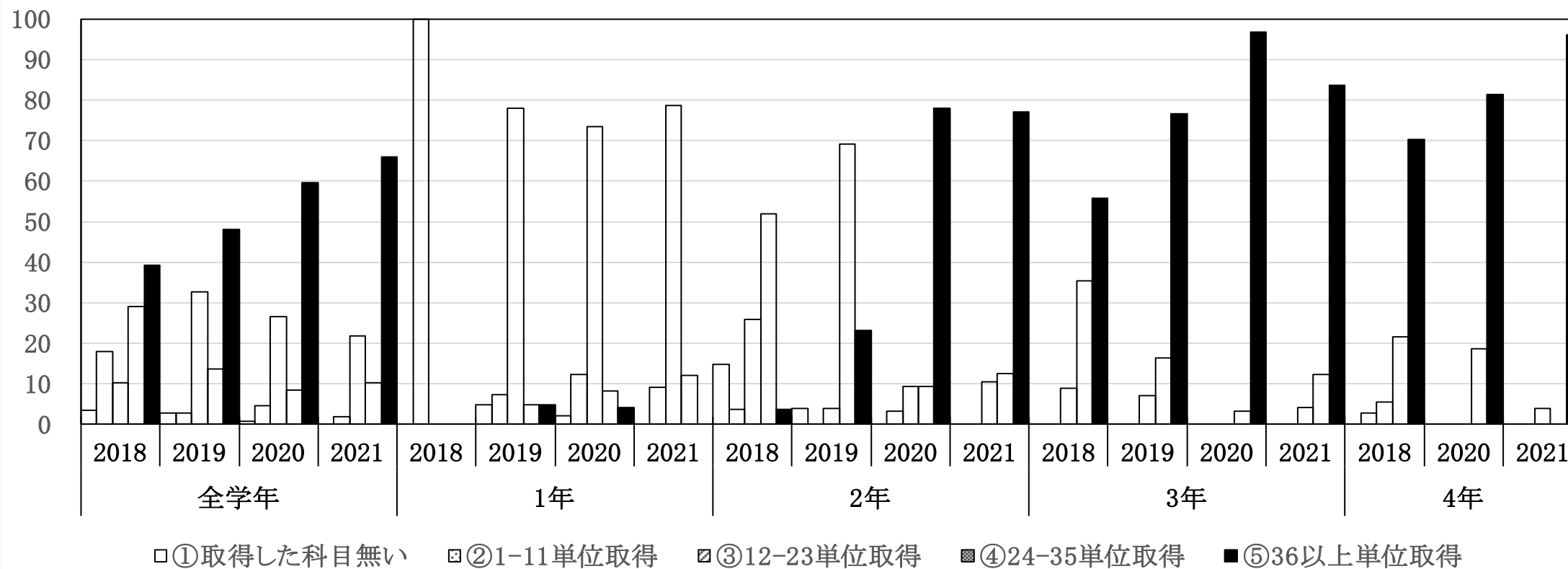


「全学年」において4単位以上の取得は4つの年度でほぼ同様である。しかし、1年生の4単位以上取得は2019年度から2020年度著しく低下し（83%→48%）、2021年度に回復（70%）している。

今まで取得した**専門基礎分野**の単位取得状況について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①取得した科目無い	3	3	1	0	0	5	2	0	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②1-11単位取得	18	3	5	2	100	7	12	9	4	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0
③12-23単位取得	10	33	27	22	0	78	73	79	26	4	9	10	9	7	0	4	5	0	4
④24-35単位取得	29	14	8	10	0	5	8	12	52	69	9	13	35	16	3	12	22	19	0
⑤36以上単位取得	39	48	60	66	0	5	4	0	4	23	78	77	56	77	97	84	70	81	96
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

専門基礎分野

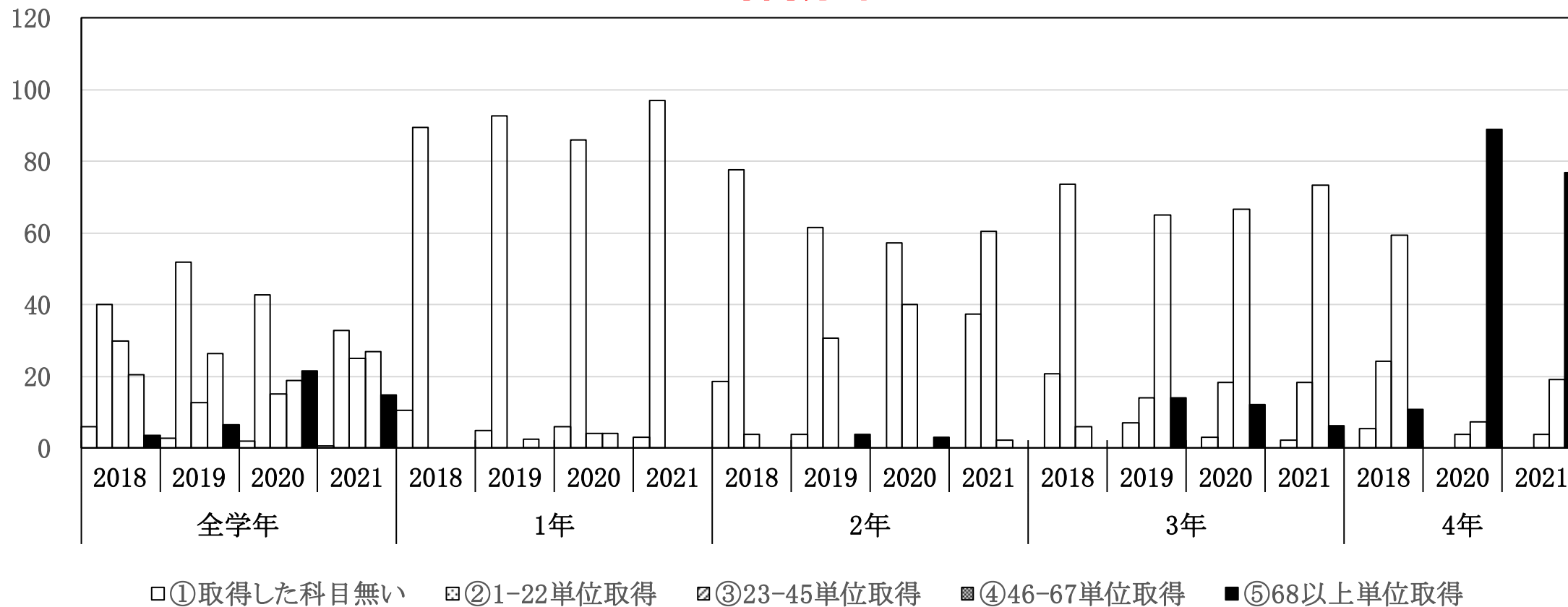


全学年の36単位以上の取得は、年々増加している。2年生の36単位以上取得が2020年度、2021年度に78%、77%に著しく増加した。

今まで取得した専門分野の単位取得状況について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①取得した科目無い	6	3	2	1	11	5	6	3	19	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②1-22単位取得	40	52	43	33	89	93	86	97	78	62	57	38	21	7	3	2	5	0	0
③23-45単位取得	30	13	15	25	0	0	4	0	4	31	40	60	74	14	18	18	24	4	4
④46-67単位取得	21	26	19	27	0	2	4	0	0	0	0	2	6	65	67	73	59	7	19
⑤68以上単位取得	3	6	21	15	0	0	0	0	0	4	3	0	0	14	12	6	11	89	77
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

専門分野

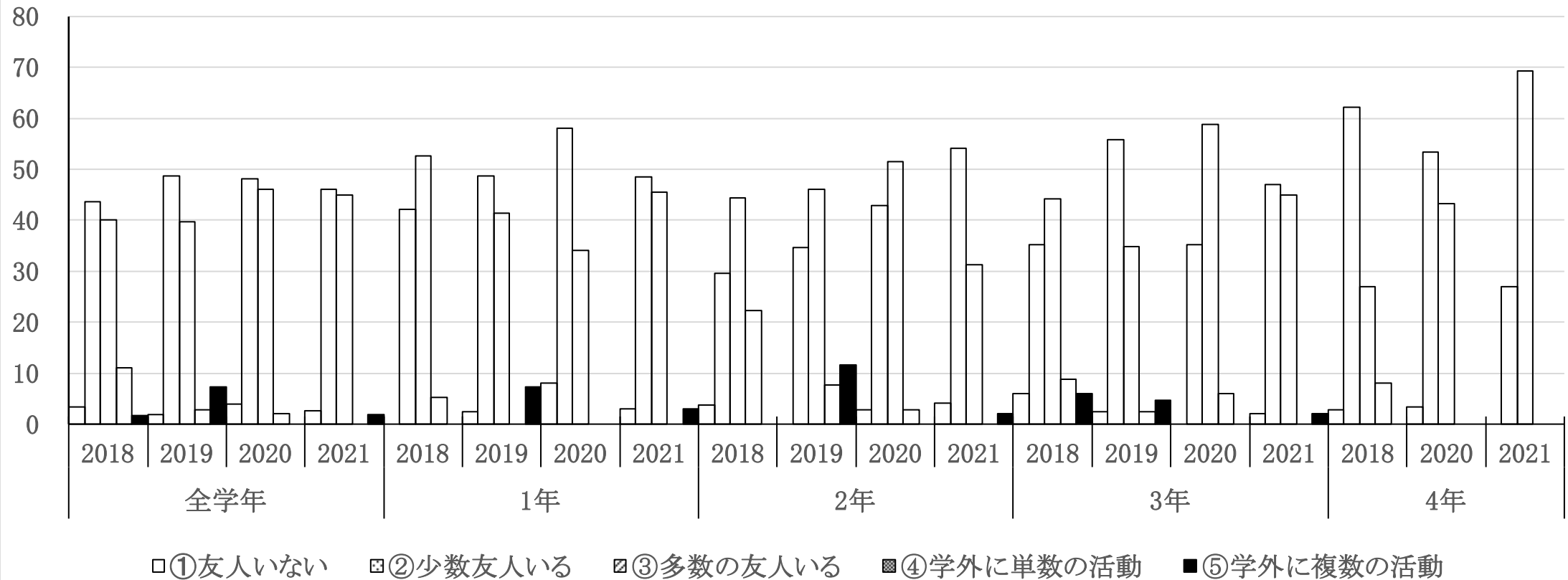


全学年、4年生の68単位以上の取得が2018年度、2019年度と2020年度、2021年度において変化が大きかった。

他者への関わり (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①友人いない	3	2	4	3	0	2	8	3	4	0	3	4	6	2	0	2	3	3	0
②少数友人いる	44	49	48	46	42	49	58	48	30	35	43	54	35	56	35	47	62	53	27
③多数の友人いる	40	40	46	45	53	41	34	45	44	46	51	31	44	35	59	45	27	43	69
④学外に単数の活動	11	3	2	0	5	0	0	0	22	8	3	0	9	2	6	0	8	0	0
⑤学外に複数の活動	2	7	0	2	0	7	0	3	0	12	0	2	6	5	0	2	0	0	0
計	100	100	100	96	100	100	100	100	100	100	100	92	100	100	100	96	100	100	96

他者への関わり



全学年の最頻値は、「②少数友人いる」(44%、49%、48%、46%)、「③多数友人いる」(40%、40%、46%、45%)の両方で84%～94%を占めている。これ等の年度変化はあまり見られなかった。学年による分布は様々であった。

多様な社会への関心 (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①ニュース関心無い	8	2	3	3	11	0	6	3	11	4	0	2	9	2	6	4	3	0	0
②時々ニュース見る	57	50	63	52	68	59	68	55	63	42	68	48	56	47	60	51	49	55	58
③興味あるニュース調べる	22	35	27	35	11	32	24	30	19	42	29	38	24	33	26	37	30	31	35
④前問＋関連情報をINで調べる	12	14	5	9	11	10	2	12	7	12	3	13	12	19	0	6	16	14	4
⑤自ら社会問題に対して行動	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	3	0	4
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

多様な社会への関心

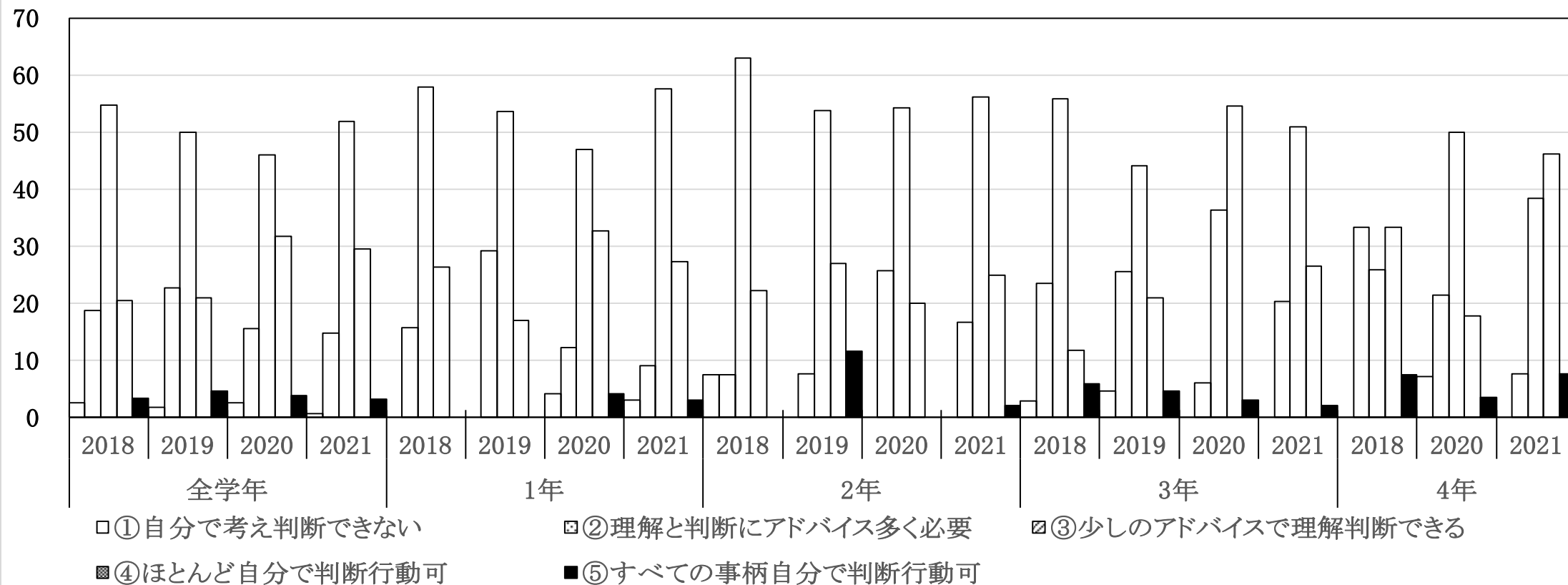


全学年において多い順に、「②時々ニュースを見る」「③興味あるニュース調べる」「④＋関連情報をINで調べる」であった。学年が進むにつれて社会への関心が高いレベルに到達する傾向は見いだせなかった。

思考・判断: 日々の学内外の生活で直面する問題・課題について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①自分で考え判断できない	3	2	3	1	0	0	4	3	7	0	0	0	3	5	0	0	0	7	0
②理解と判断にアドバイス多く必要	19	23	16	15	16	29	12	9	7	8	26	17	24	26	6	20	33	21	8
③少しのアドバイスで理解判断できる	55	50	46	52	58	54	47	58	63	54	54	56	56	44	36	51	26	50	38
④ほとんど自分で判断行動可	21	21	32	29	26	17	33	27	22	27	20	25	12	21	55	27	33	18	46
⑤すべての事柄自分で判断行動可	3	5	4	3	0	0	4	3	0	12	0	2	6	5	3	2	7	4	8
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

思考・判断

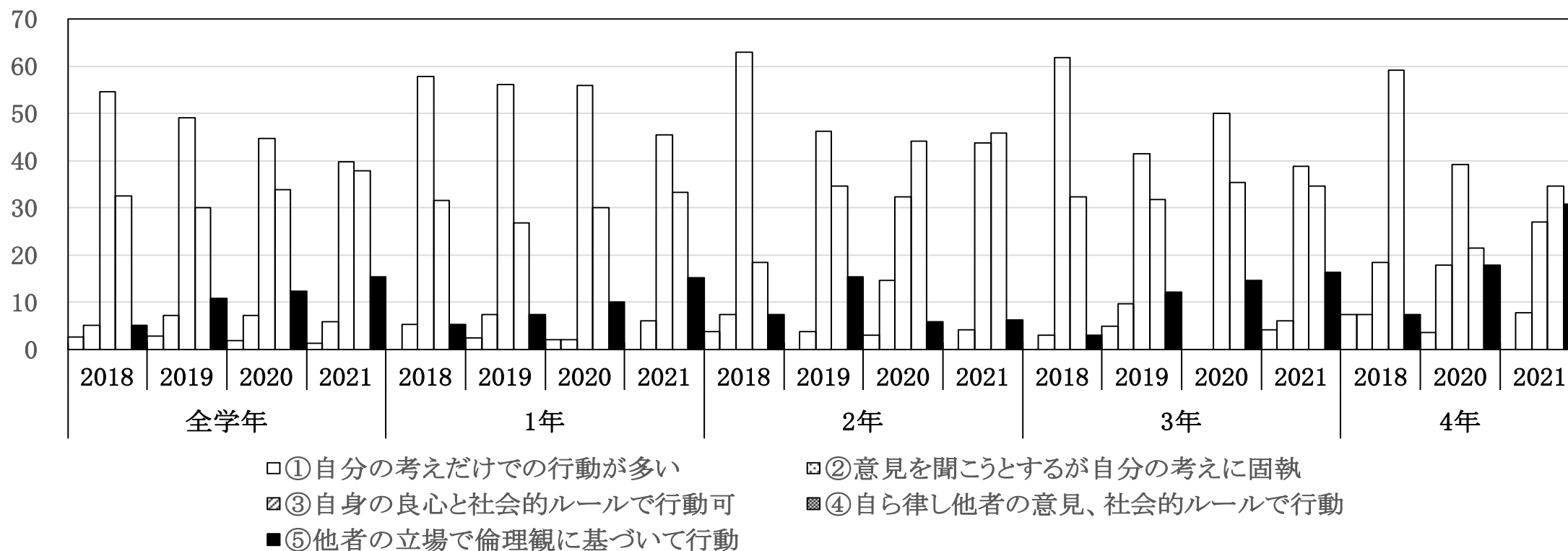


全学年では多い順に「③少しのアドバイスで理解判断できる」「④ほとんど自分で判断行動可」であった。

態度: 日頃、自分が他者にとっての態度について (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①自分の考えだけでの行動が多い	3	3	2	1	0	2	2	0	4	0	3	0	0	5	0	4	7	4	0
②意見を聞こうとするが自分の考えに固執	5	7	7	6	5	7	2	6	7	4	15	4	3	10	0	6	7	18	8
③自身の良心と社会的ルールで行動可	55	49	45	40	58	56	56	45	63	46	32	44	62	41	50	39	19	39	27
④自ら律し他者の意見、社会的ルールで行動	32	30	34	38	32	27	30	33	19	35	44	46	32	32	35	35	59	21	35
⑤他者の立場で倫理観に基づいて行動	5	11	12	15	5	7	10	15	7	15	6	6	3	12	15	16	7	18	31
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

態 度

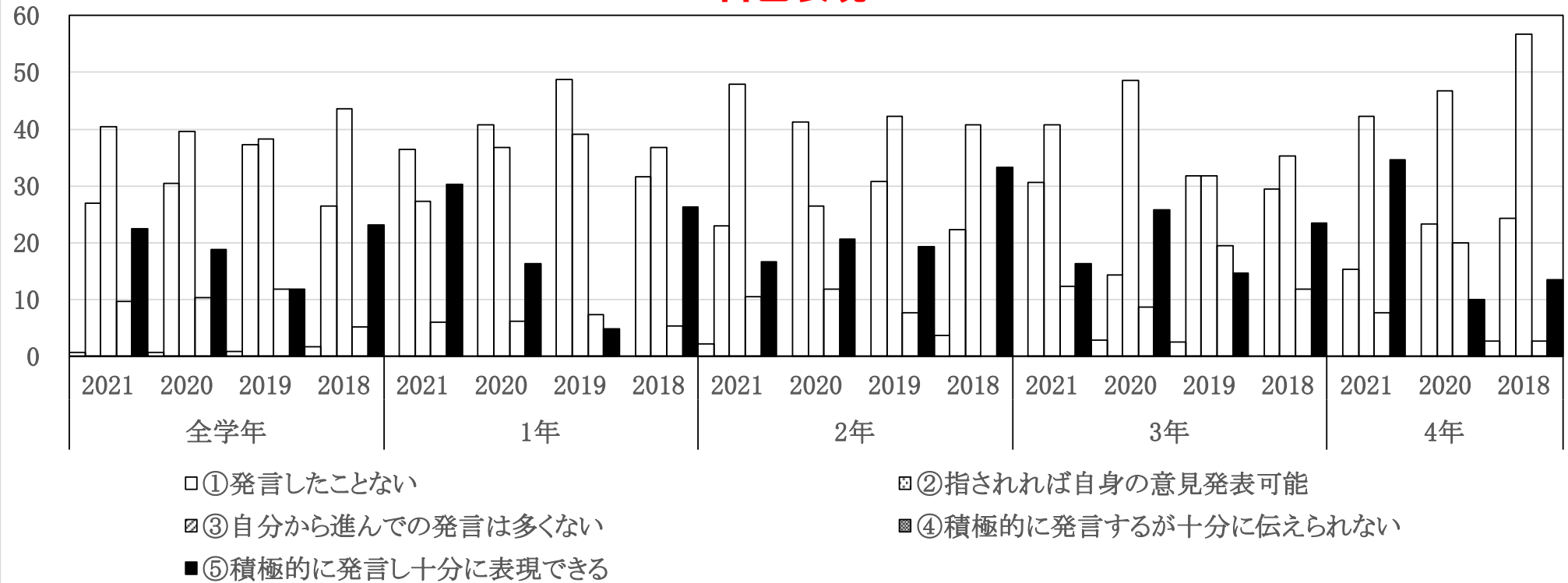


全学年では多い順に「③自身の良心と社会的ルールで行動可」「④自ら律し他者の意見、社会的ルールで行動」「⑤他者の立場で倫理観に基づいて行動」であった。年度と共に「③」は減少傾向、「④」「⑤」は増加傾向であった。特に⑤は3年生、4年生でも増加傾向であった。

自己表現 (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2021	2020	2019	2018	2021	2020	2019	2018	2021	2020	2019	2018	2021	2020	2019	2018	2021	2020	2018
①発言したことない	1	1	1	2	0	0	0	0	2	0	0	4	0	3	2	0	0	0	3
②指されれば自身の意見発表可能	27	31	37	26	36	41	49	32	23	41	31	22	31	14	32	29	15	23	24
③自分から進んでの発言は多くない	40	40	38	44	27	37	39	37	48	26	42	41	41	49	32	35	42	47	57
④積極的に発言するが十分に伝わらない	10	10	12	5	6	6	7	5	10	12	8	0	12	9	20	12	8	20	3
⑤積極的に発言し十分に表現できる	22	19	12	23	30	16	5	26	17	21	19	33	16	26	15	24	35	10	14
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

自己表現

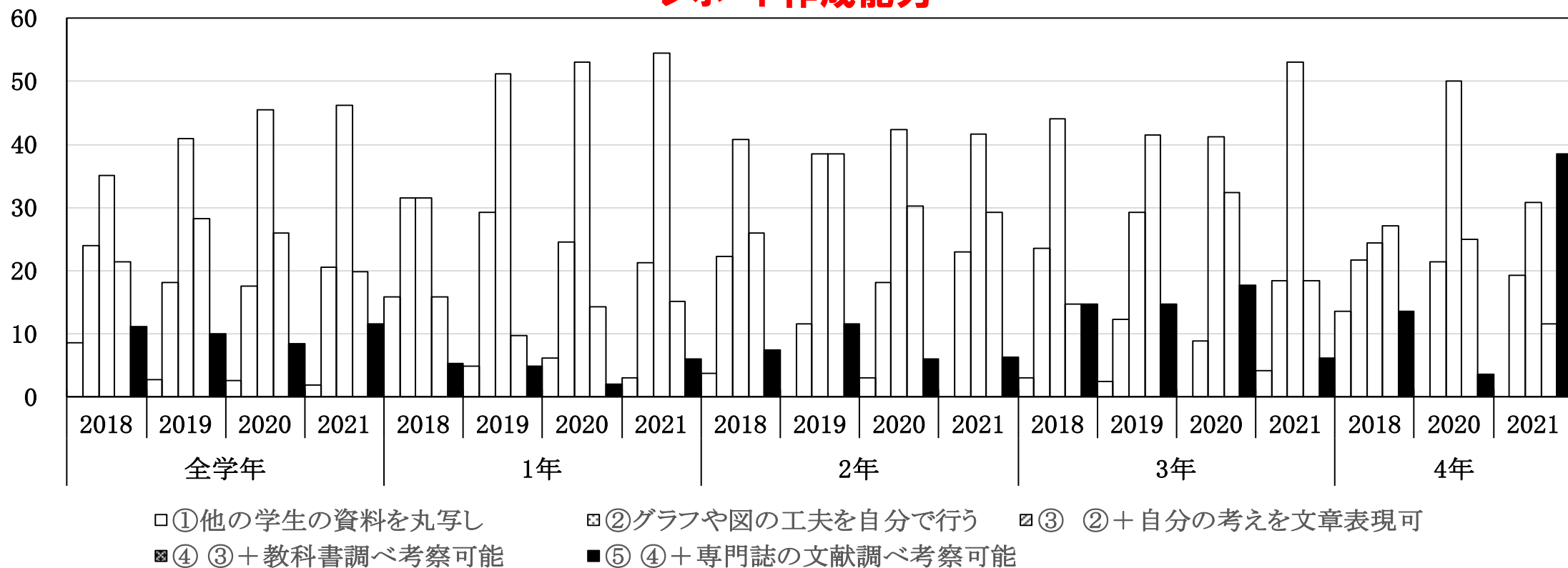


全学年の多い順に「③自分から進んでの発言は多くない」「②指されれば自身の意見発表可能」であった。2019年度から「②」は減少傾向、「⑤積極的に発言し十分に表現できる」は増加傾向であった。

レポート作成能力 (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①他の学生の資料を丸写し	9	3	3	2	16	5	6	3	4	0	3	0	3	2	0	4	14	0	0
②グラフや図の工夫を自分で行う	24	18	18	21	32	29	24	21	22	12	18	23	24	12	9	18	22	21	19
③ ②+自分の考えを文章表現可	35	41	45	46	32	51	53	55	41	38	42	42	44	29	41	53	24	50	31
④ ③+教科書調べ考察可能	21	28	26	20	16	10	14	15	26	38	30	29	15	41	32	18	27	25	12
⑤ ④+専門誌の文献調べ考察可能	11	10	8	12	5	5	2	6	7	12	6	6	15	15	18	6	14	4	38
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

レポート作成能力

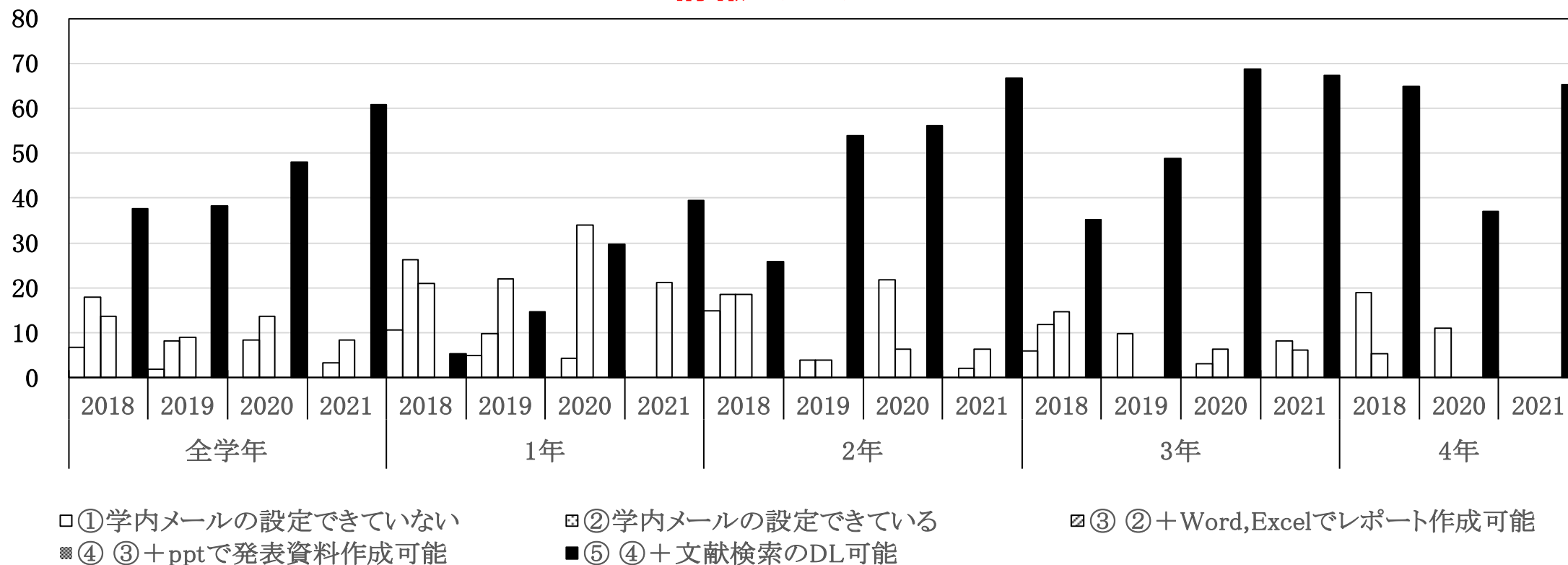


全学年の多い順に「③前問+自分の考えを文章表現可」「④前問+教科書調べ考察可能」「②グラフや図の工夫を自分で行う」であった。

情報リテラシー (%)

	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①学内メールの設定できていない	7	2	0	0	11	5	0	0	15	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
②学内メールの設定できている	18	8	8	3	26	10	4	0	19	4	22	2	12	10	3	8	19	11	0
③ ②+Word,Excelでレポート作成可能	14	9	14	8	21	22	34	21	19	4	6	6	15	0	6	6	5	0	0
④ ③+pptで発表資料作成可能	24	43	30	28	37	49	32	39	22	38	16	25	32	41	22	18	11	52	35
⑤ ④+文献検索のDL可能	38	38	48	61	5	15	30	39	26	54	56	67	35	49	69	67	65	37	65
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

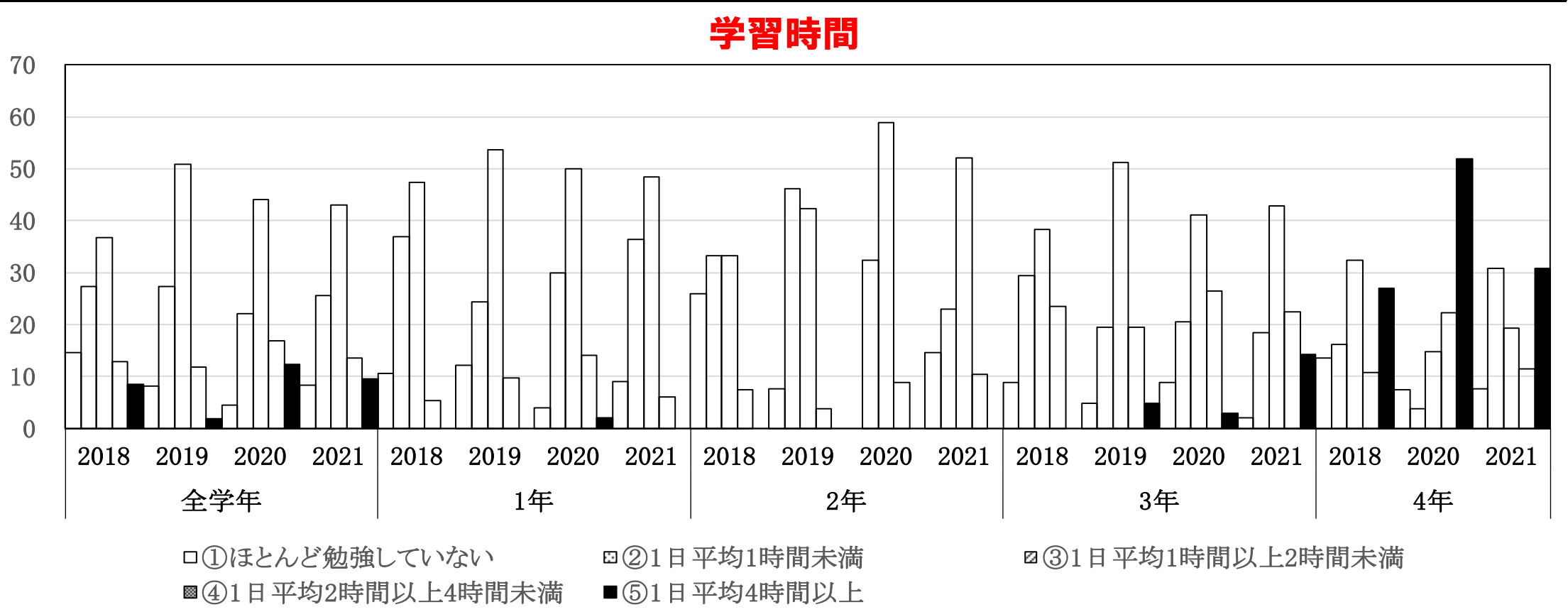
情報リテラシー



全学年の多い順に「⑤前問+文献検索のDL可能」であり、毎年度増加していた。この傾向は1～3年生において同様であった。2021年度は回答の「⑤」を2年67%、3年67%、4年65%と高値を維持していた。

学習の習慣; 日頃の勉強時間について (%)

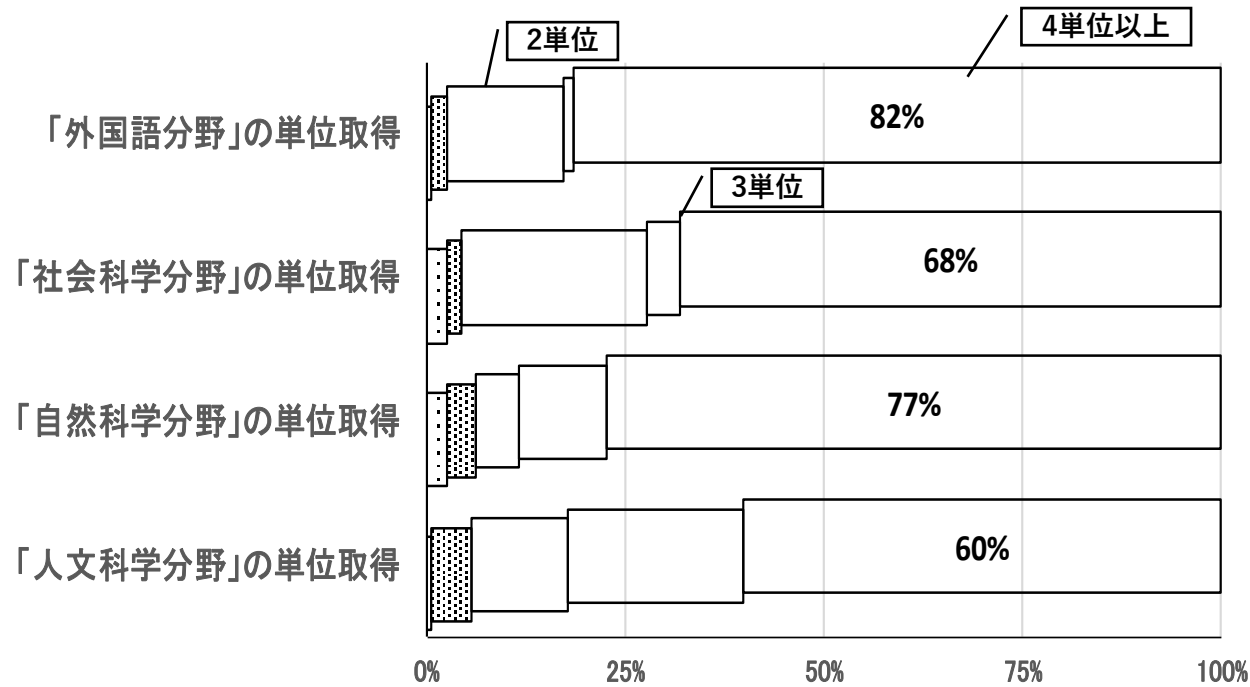
	全学年				1年				2年				3年				4年		
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2020	2021
①ほとんど勉強していない	15	8	5	8	11	12	4	9	26	8	0	15	9	5	9	2	14	7	8
②1日平均1時間未満	27	27	22	26	37	24	30	36	33	46	32	23	29	20	21	18	16	4	31
③1日平均1時間以上2時間未満	37	51	44	43	47	54	50	48	33	42	59	52	38	51	41	43	32	15	19
④1日平均2時間以上4時間未満	13	12	17	13	5	10	14	6	7	4	9	10	24	20	26	22	11	22	12
⑤1日平均4時間以上	9	2	12	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5	3	14	27	52	31
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100



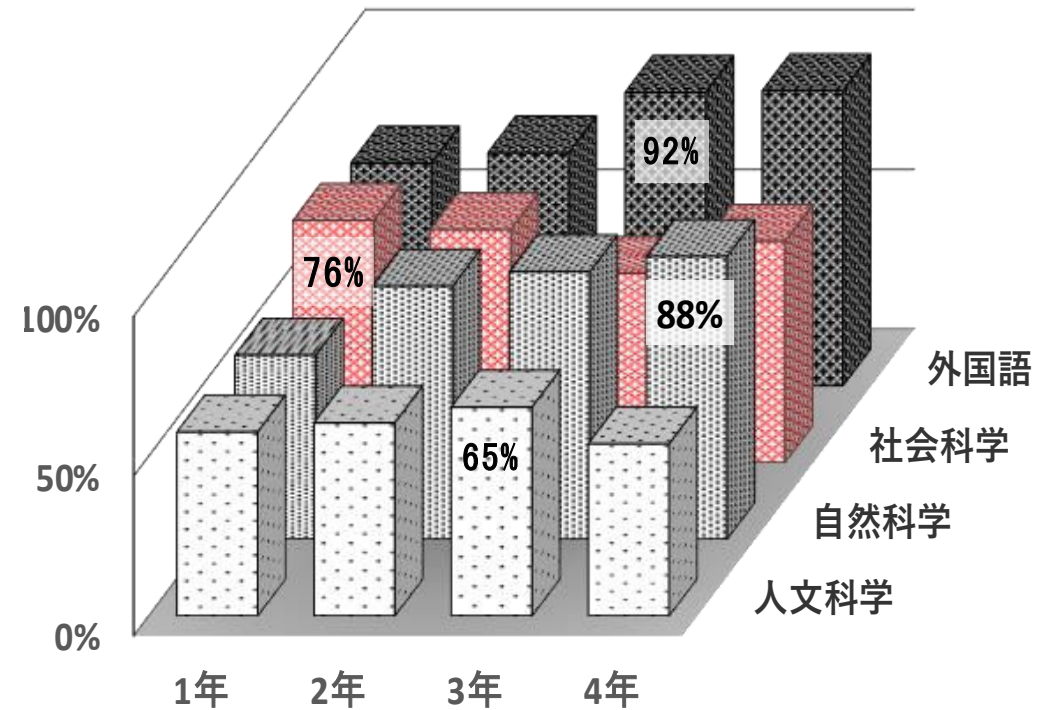
全学年の多い順に「③1日平均1時間以上2時間未満」「②1日平均1時間未満」であった。4年生になると「⑤1日平均4時間以上」が著しく増加した。

2021年度の単純集計、クロス集計図表

単位取得状況

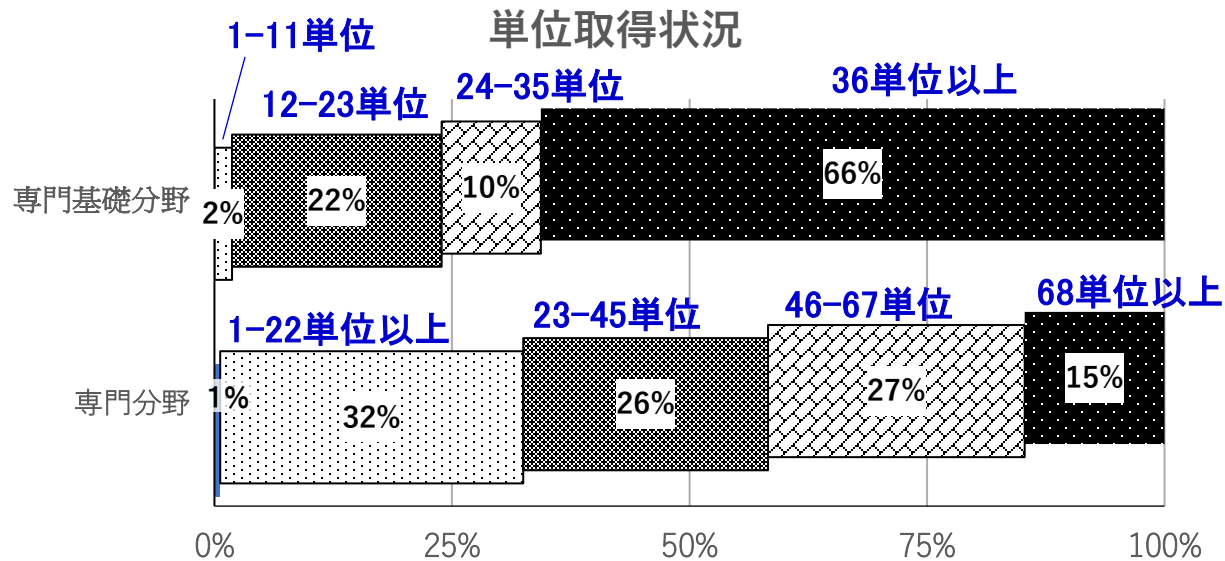


4単位以上取得者の割合

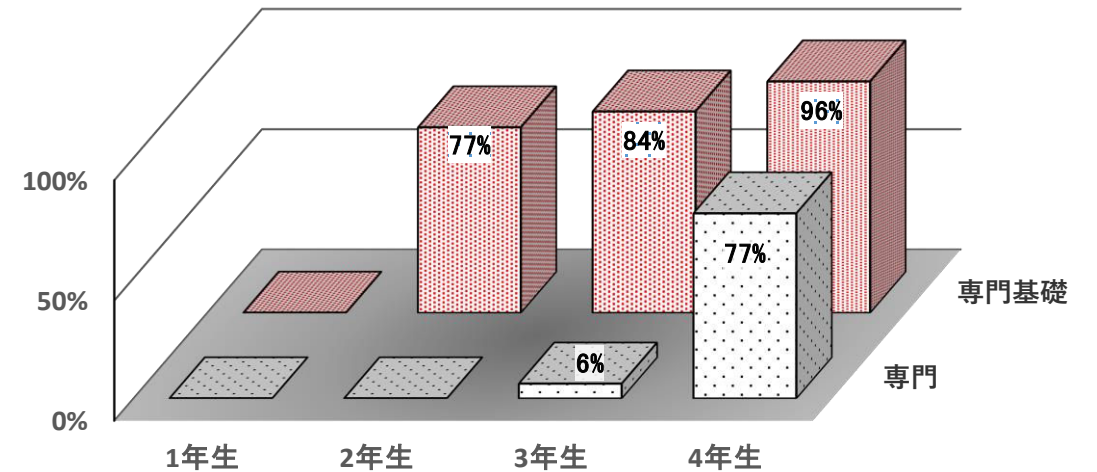


4単位以上取得が多いのは「外国語分野」82%、少ないのは「人文科学分野」60%であった。

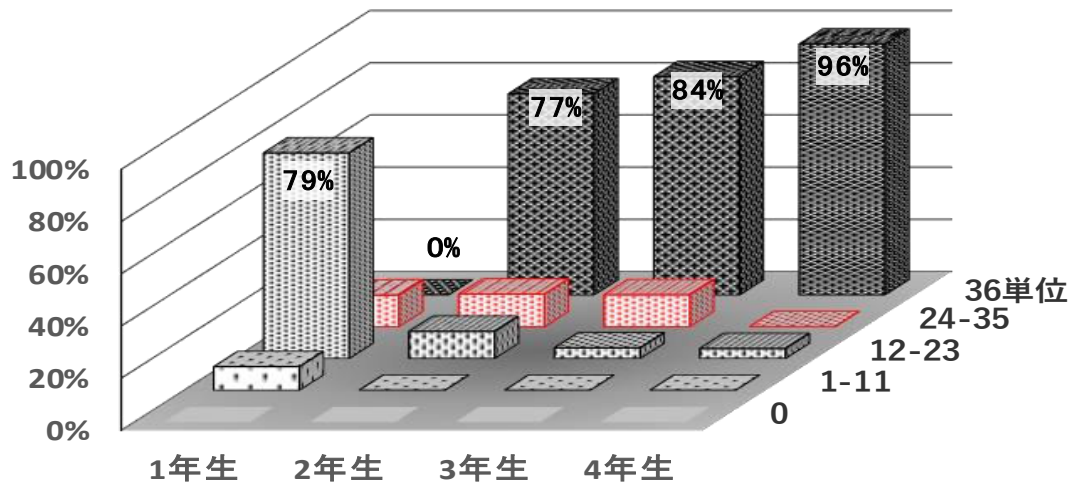
単位取得状況 「専門基礎分野」 「専門分野」



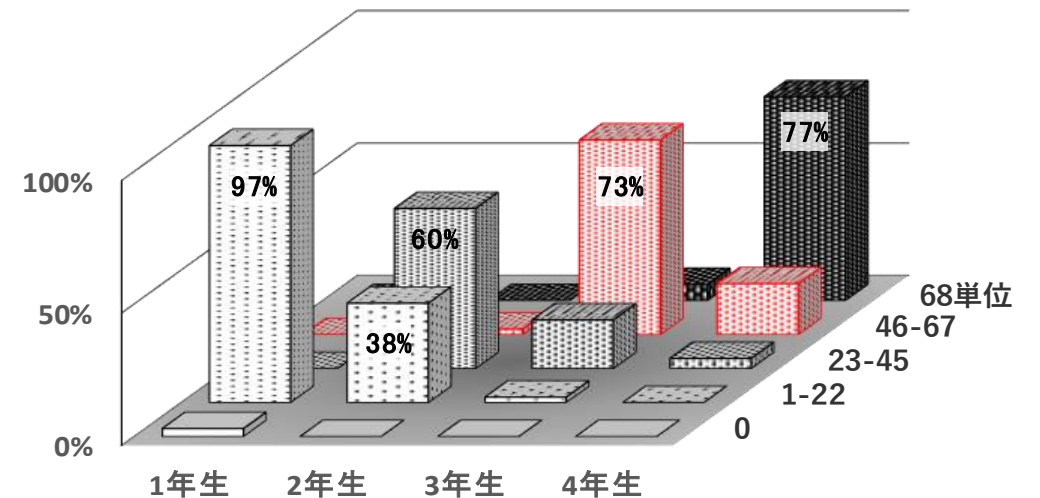
専門基礎36単位以上、専門68単位以上の取得者割合



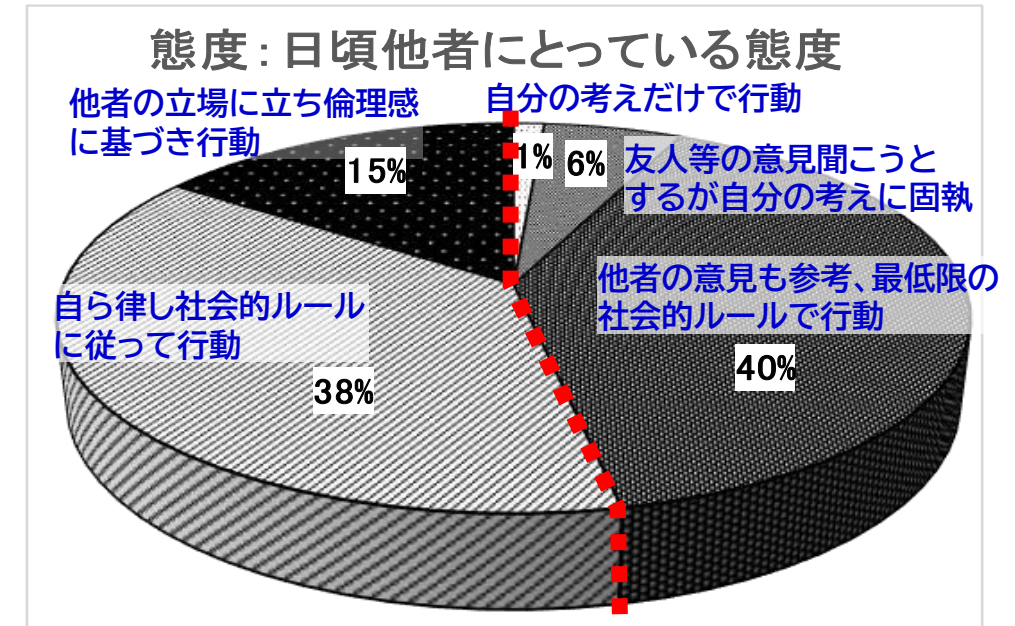
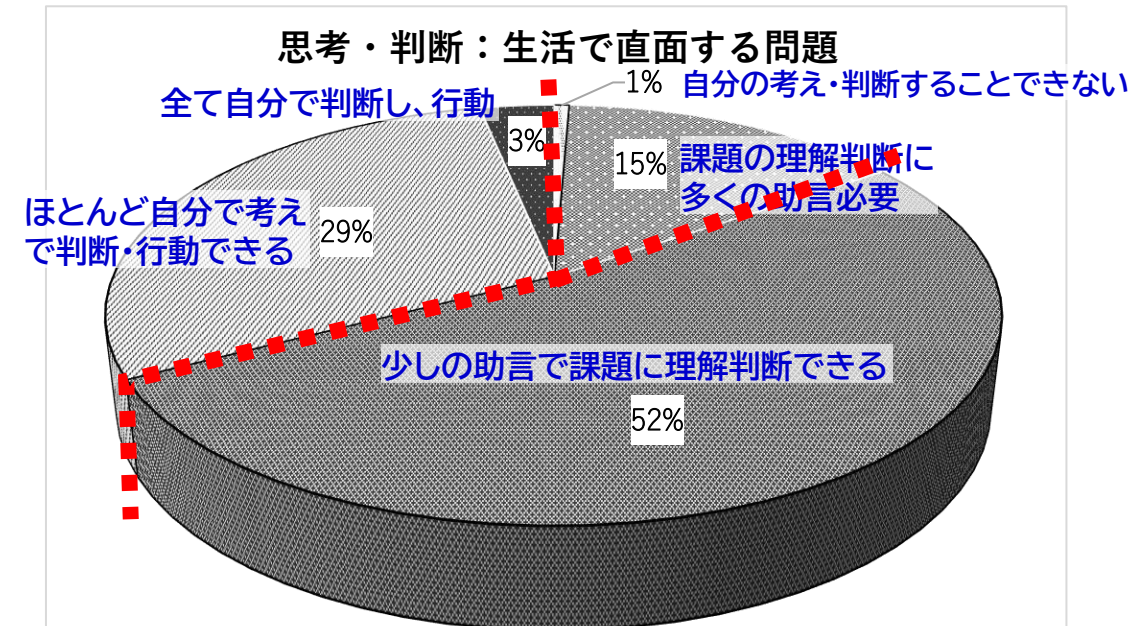
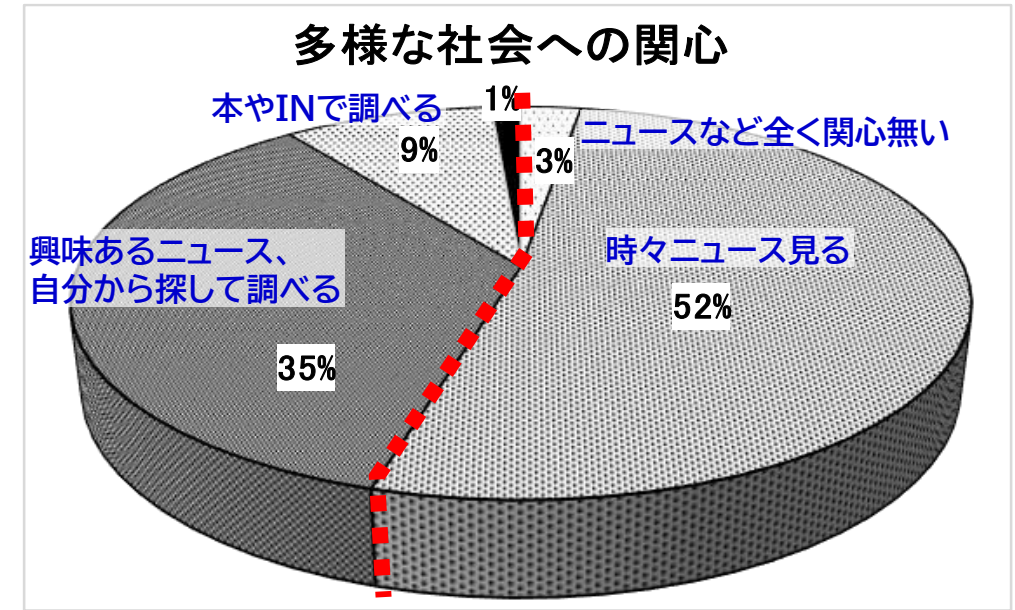
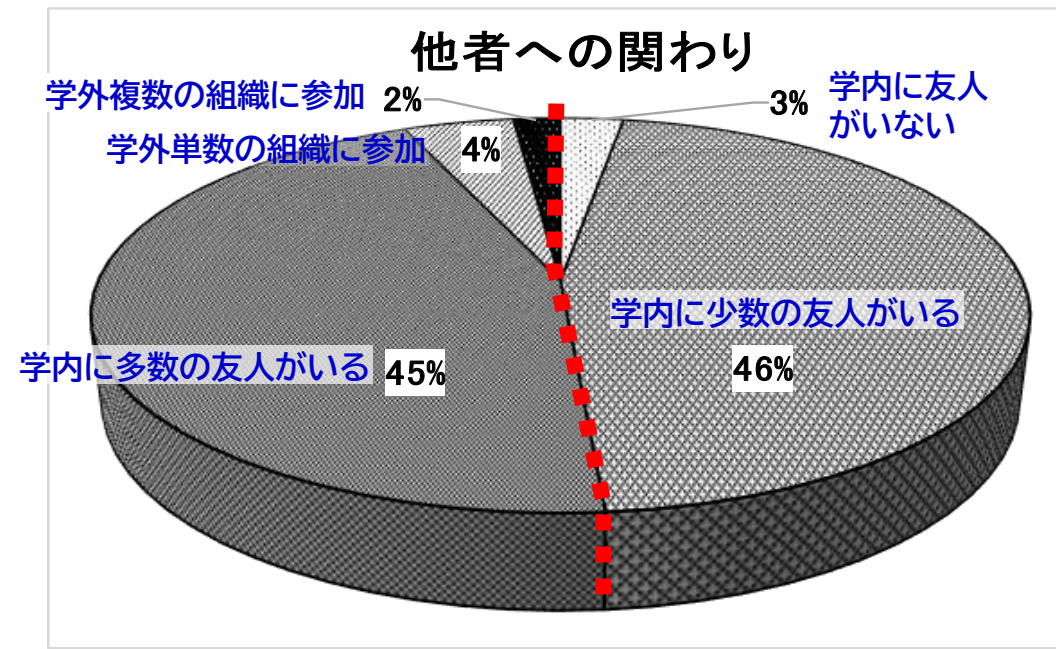
専門基礎分野の単位取得者割合



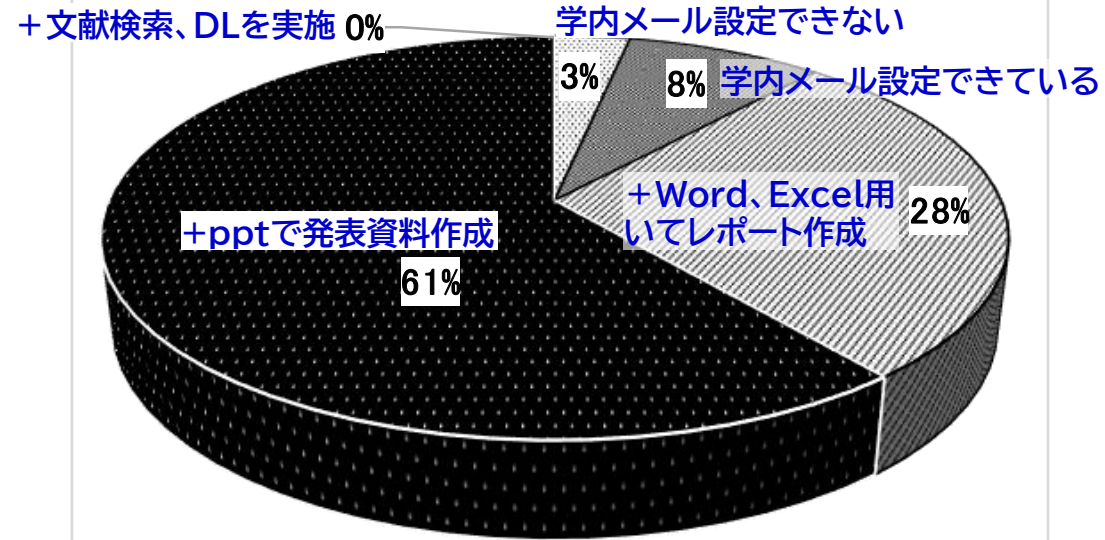
専門分野の単位取得者割合



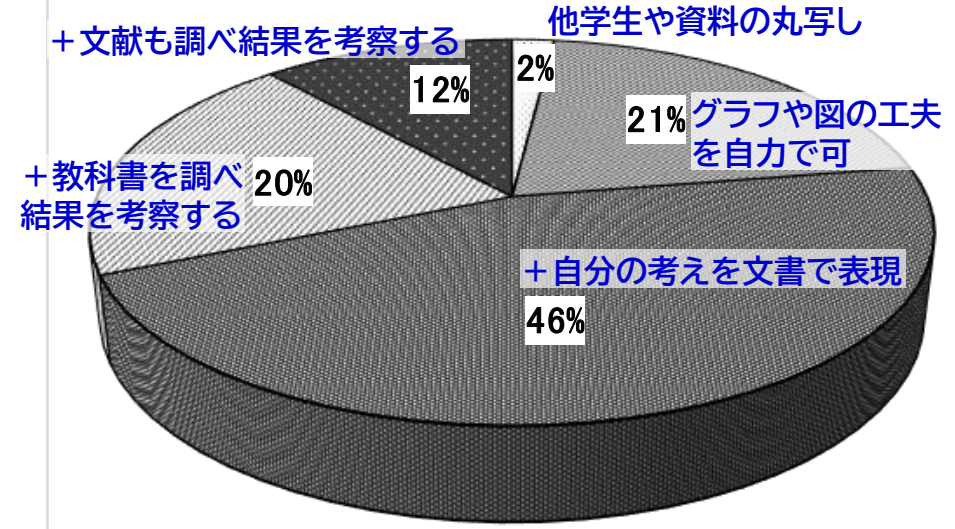
専門基礎分野、専門分野は学年進行に応じて単位を取得していた。



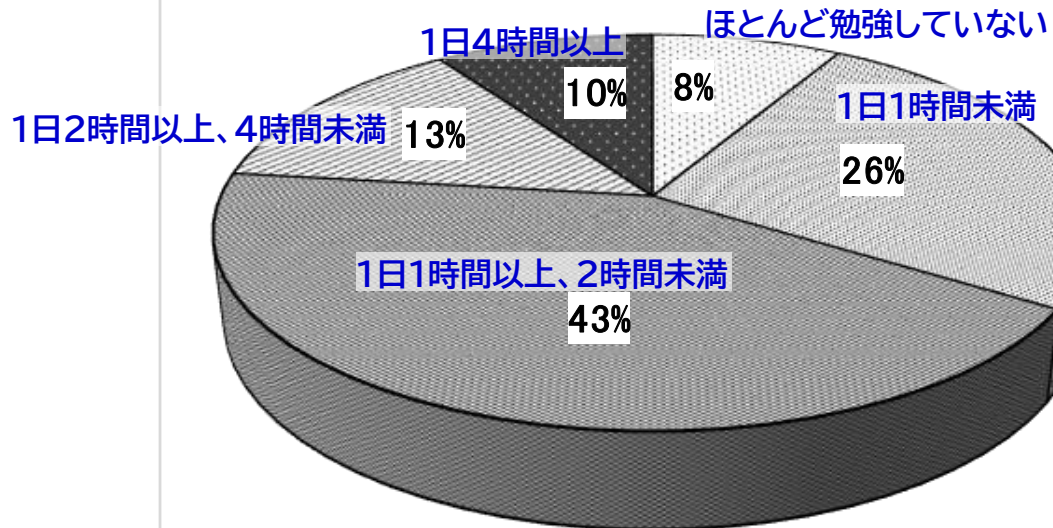
情報リテラシー



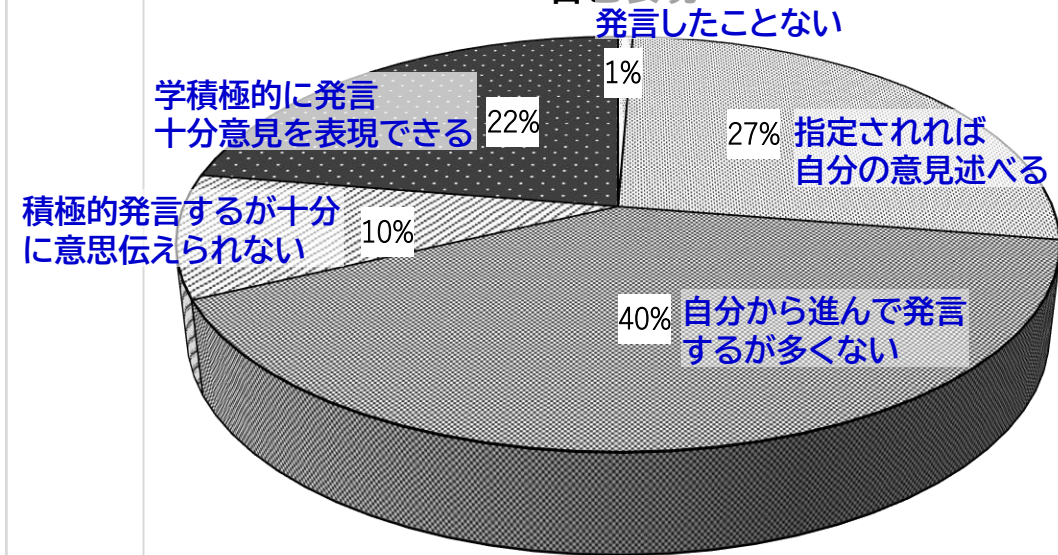
レポート作成能力



学習時間

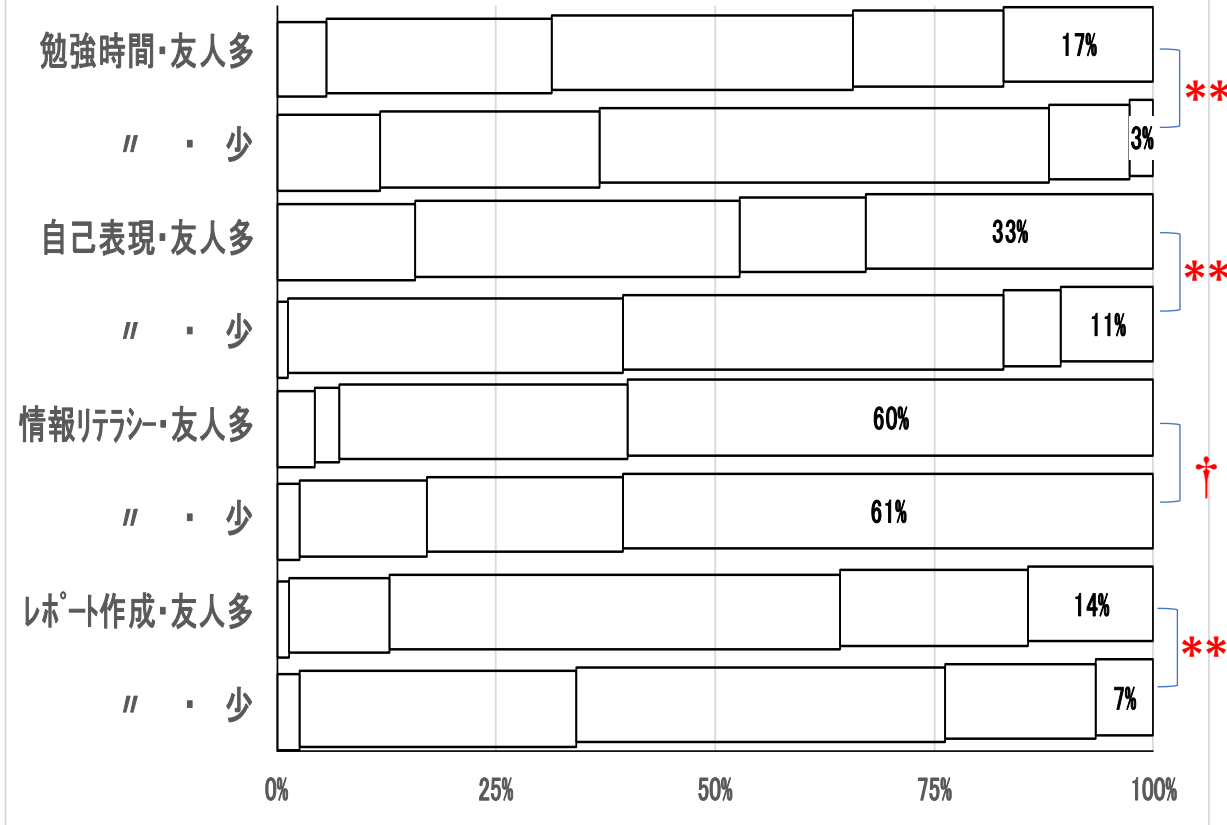


自己表現



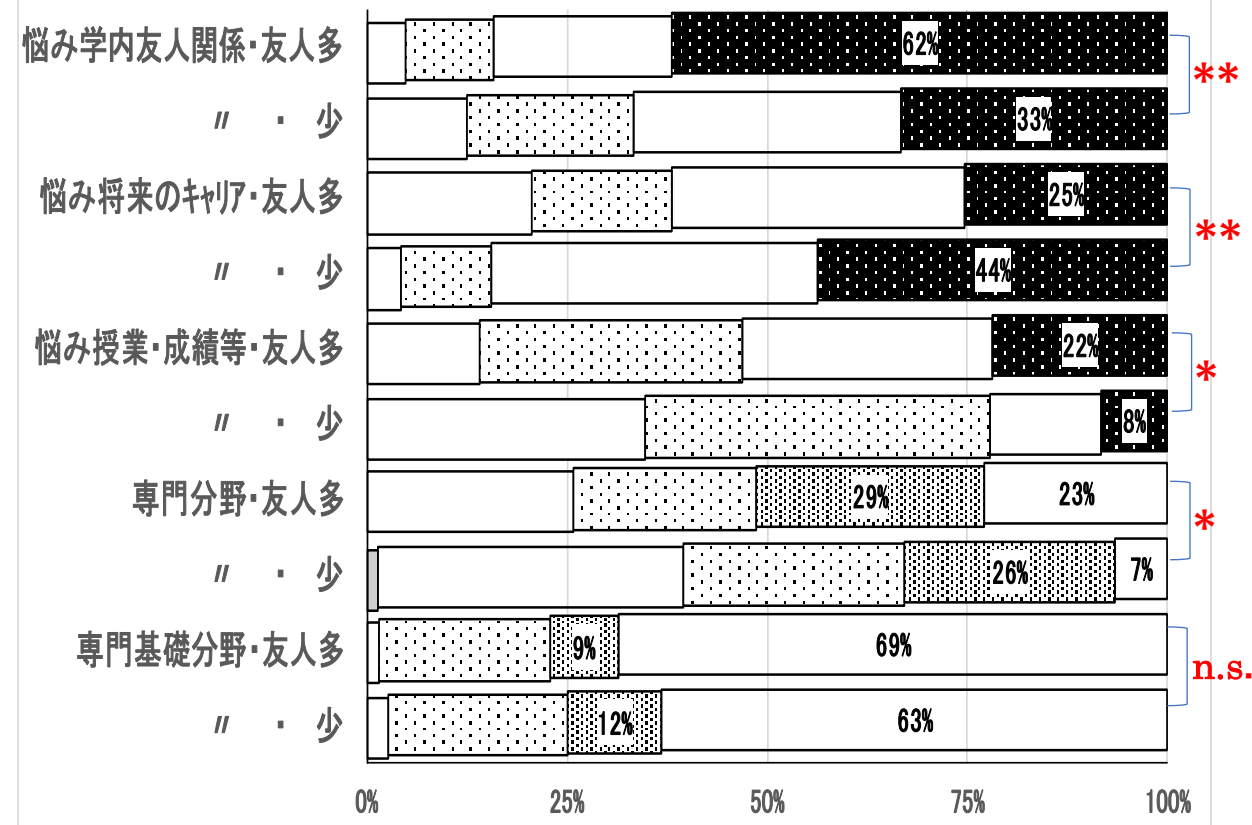
他者への関わりで学内に友人が「いない/少ない」と「多い」に2分類した場合の他の項目比較

他者への関わり:学内友人「無・少ない」と「多い」の2群比較



勉強時間：していない/日、<1時間、≥ 1時間～<2時間、2時間～<4時間、≥4時間
 自己表現：発言したことない、指定されれば自分の意見述べる、自分から進んで発言するが少ない、積極的に発言するが十分自分の意見伝えられない、積極的に発言し十分自分の意見を表現できる
 情報リテラシー：学内メール設定できていない、学内メール設定済、加えWord,Excelでレポート作成、加えパワーポイントで発表資料作成、加え文献検索とダウンロード実施
 レポート作成：他の学生や資料の丸写し、グラフや図などの工夫を自分で行う、加え自分の考えを文章で表現、教科書で調べて結果を考察できる、加え専門誌の文献を調べ結果を調査できる

他者への関わり:学内友人「無・少ない」と「多い」の2群比較



悩み；学内友人関係： あり、少しあり、ほとんどない、ない
 悩み；将来のキャリア：あり、少しあり、ほとんどない、ない
 悩み；授業・成績等： あり、少しあり、ほとんどない、ない
 専門分野：1-22単位取得、23-45単位、46-67単位、68単位以上
 専門基礎分野：1-11単位取得、12-23単位、24-35単位、36単位以上

他者への関わり、社会への関心などを2/3/4分類して、他の項目との関連をカイ二乗検定の一覧

表1-a 各因子間の相互関係

	他者への関わり	多様な社会への関心	思考・判断・生活で直面する問題	態度：日頃他者にとって	情報リテラシー	レポート作成能力	日頃の学習時間	自己表現	悩み：授業・成績等	悩み：学費や生活費等	悩み：将来のキャリア	悩み：学内の友人関係	悩み：教員との人間関係
他者への関わり;2分類	—		*		†	**	**	**	*		**	**	†
多様な社会への関心;2分類		—			†	†							
思考・判断・生活で直面する問題;3分類			—	**		***	***	***			**	†	†
日頃他者にとっている態度;2分類				—		*	*	***	*		†		†
学年;4分類													
性別;2分類		†	†										
専攻;3分類							**						

* ; p<0.05, ** ; p<0.01, *** ; p<0.001, † ; p<0.1

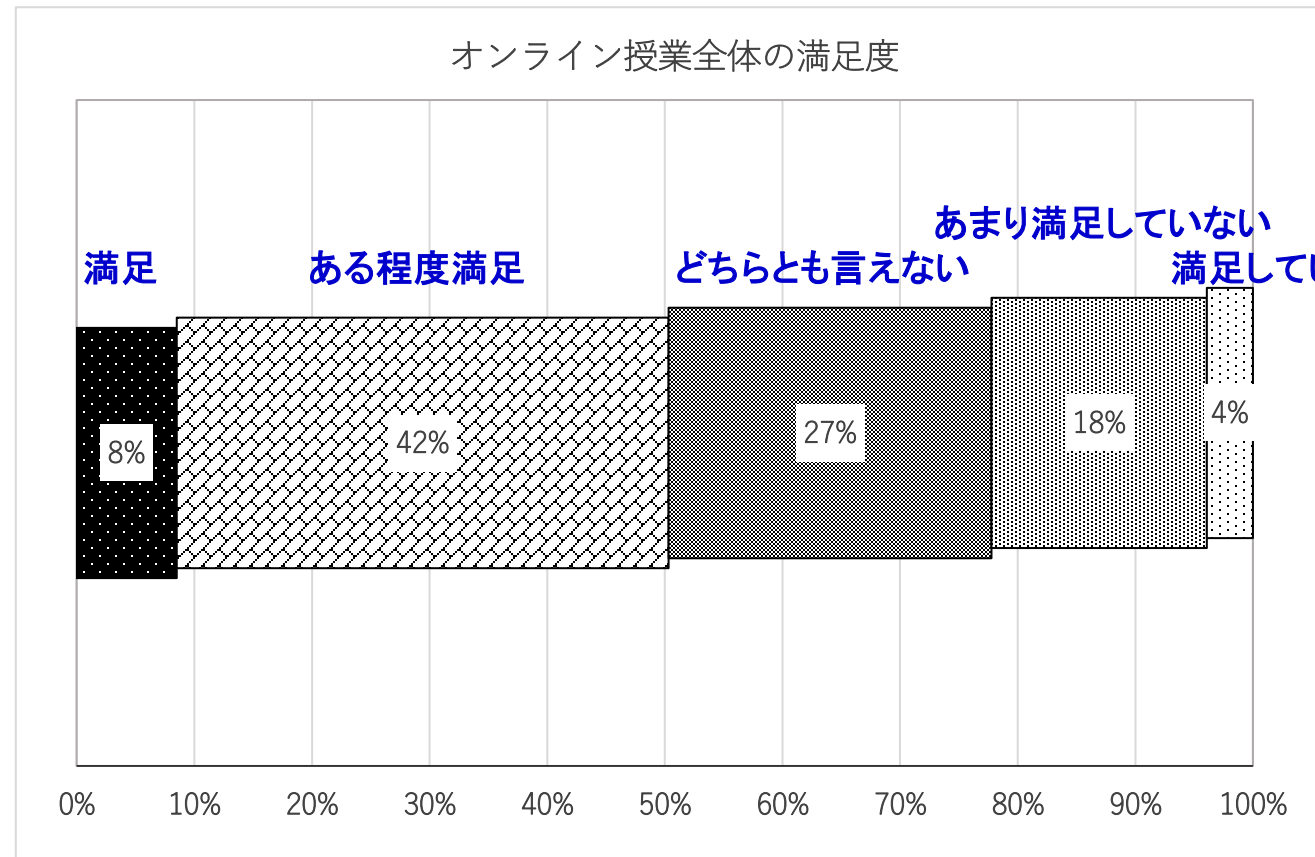
表1-b 各因子間の相互関係

	外国語 分野	社会科 学分野	自然科 学分野	人文学 学分野	専門基 礎分野	専門分 野	オンラ イン満 足度	転専攻 につい て考え た	休学に ついて 考えた	退学に ついて 考えた	学年	性別	専攻
他者への関わり;2分類						*		*			*		†
多様な社会への関 心;2分類												†	†
思考・判断・生活で直 面する問題;3分類												†	
日頃他者にとってい る態度;2分類							*						
学年;4分類											—		
性別;2分類										***		—	*
専攻;3分類				*						*		**	—

* ; p<0.05, ** ; p<0.01, *** ; p<0.001, † ; p<0.1

- 「他者への関わり」「思考・判断・生活で直面する問題」「日頃他者にとっての態度」は、関連する項目が多い。
- 基本的に表側の高（低）いレベルを選択した学生は、表頭の項目も高（低）いレベルを選択していることが明らかである（25頁の帯グラフ参照）。
- 特に「他者への関わり」「思考・判断・生活で直面する問題」「日頃他者にとっての態度」の高い学生は、「レポート作成能力」「日頃の学習時間」「自己表現」も高い傾向を示している（26頁参照）。

オンライン授業（オンデマンド型授業、双方向型授業）全体の満足度

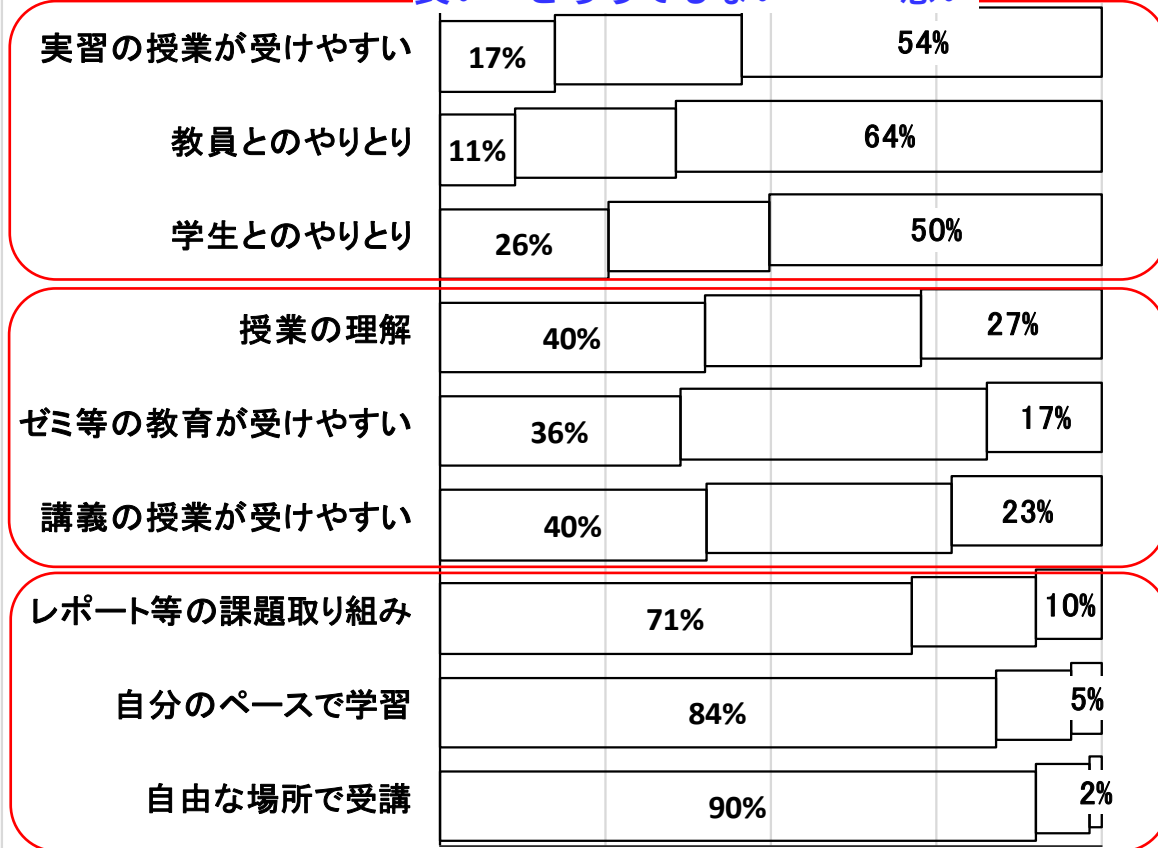


「満足／ある程度満足」50%が「あまり満足していない／満足していない」22%を28%上回っていた。

オンデマンド型授業、双方向型授業における「良い」「どちらでもない」「悪い」の満足度

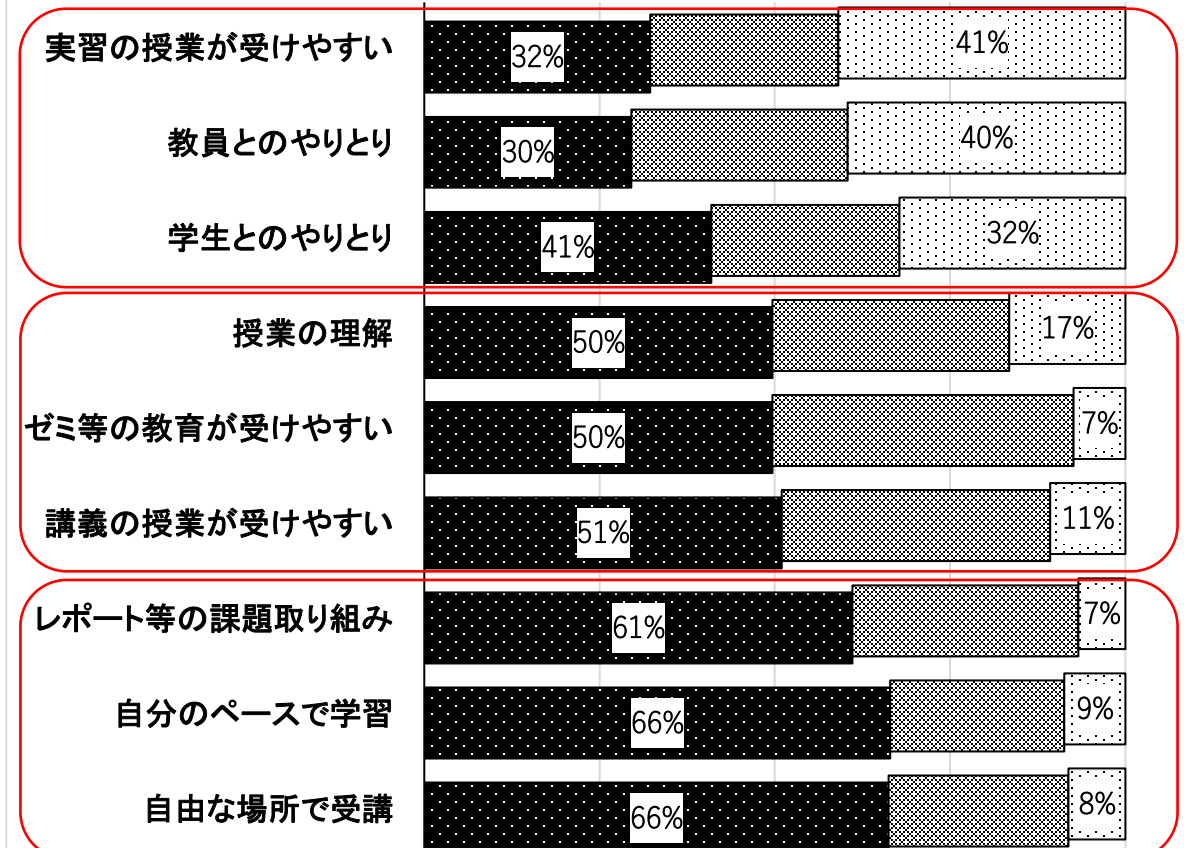
対面型授業に比べて**オンデマンド型授業**は？

良い どちらでもない 悪い



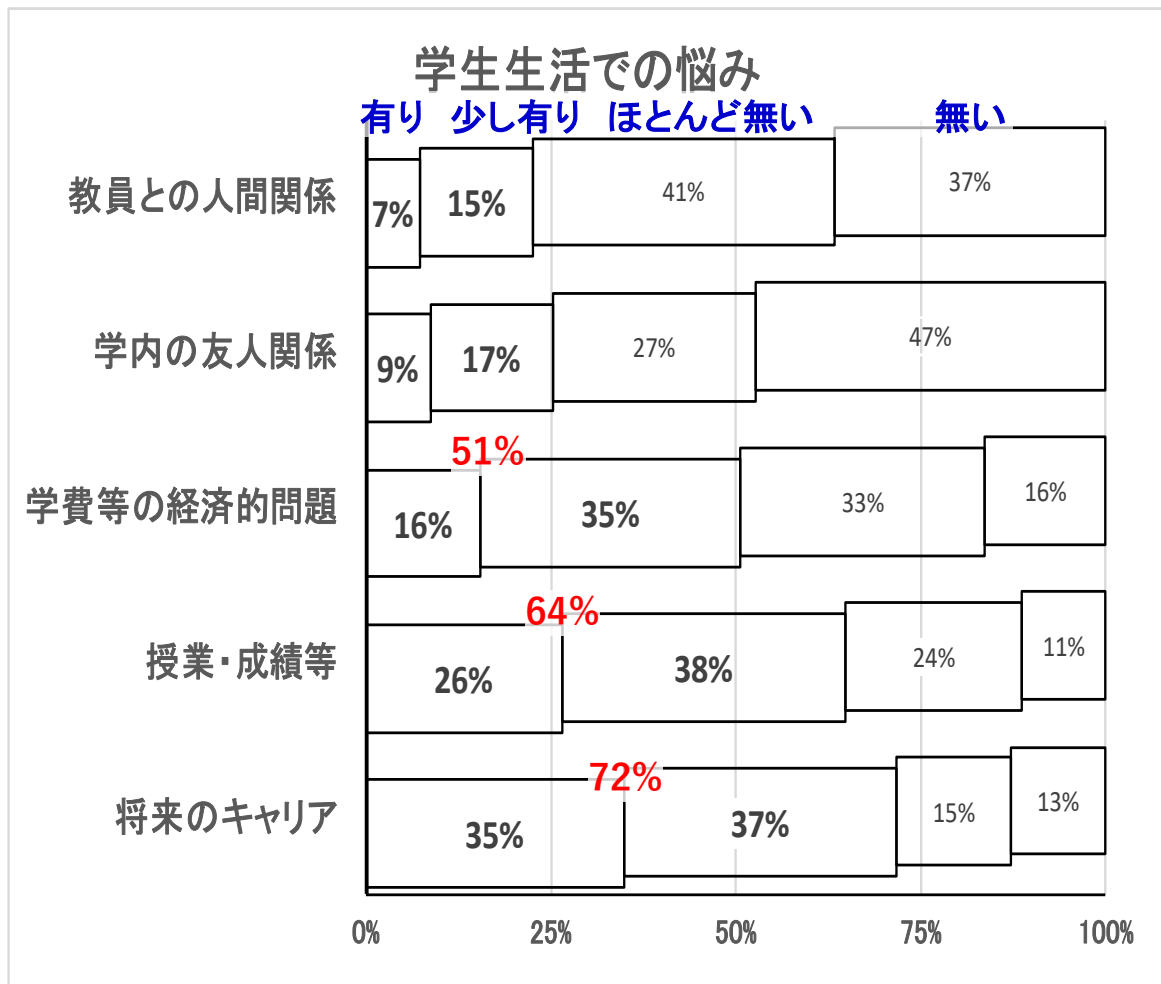
対面型授業に比べて**双方向型授業**は？

良い どちらでもない 悪い



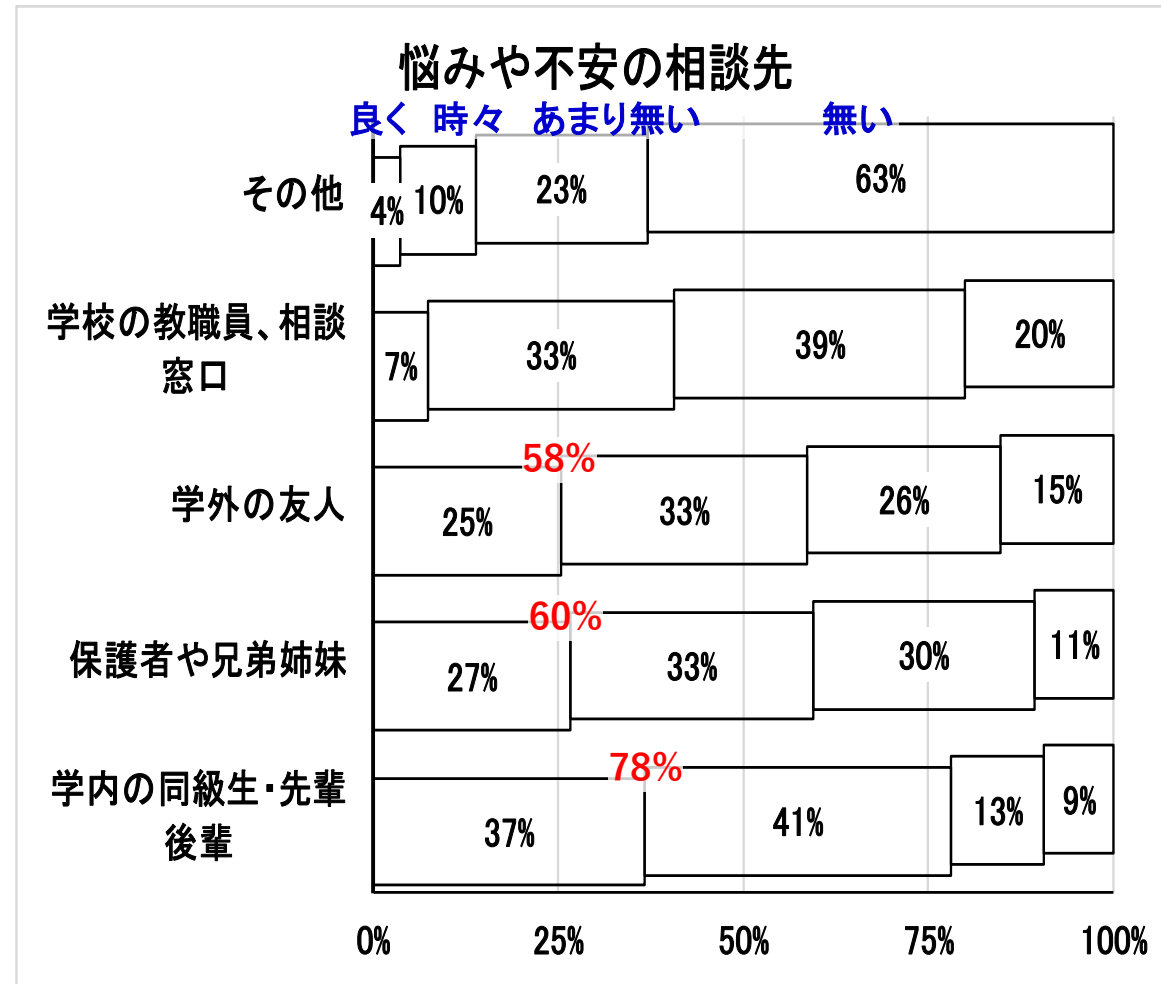
- オンデマンド型授業と双方向型授業は同様の傾向を示した。全体に「良い」はオンデマンド型授業が上回っていた。
- 「良い」においてオンデマンド型授業は自分のペース、自由な場所等で上回っていたが、双方向型授業は授業の理解、受講しやすいが上回っていた。

学生生活に悩みがあるか



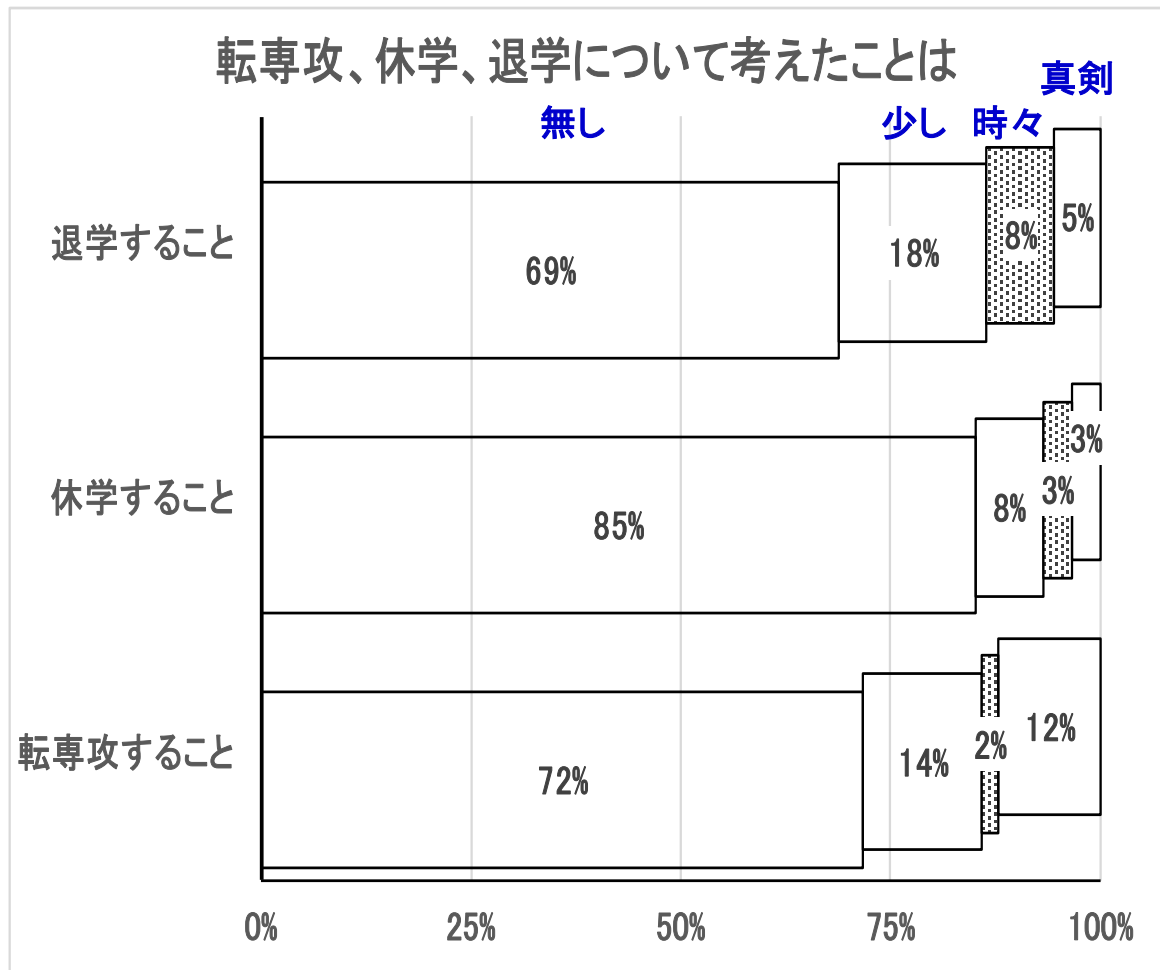
- 学生生活での悩み（有／少し有）は将来のキャリア72%、授業・成績等64%、学費等51%であった。

悩みや不安の相談先はどちらか



- 悩みの相談先（良く／時々）は学内の友人78%、保護者など60%、学外の友人58%であった。

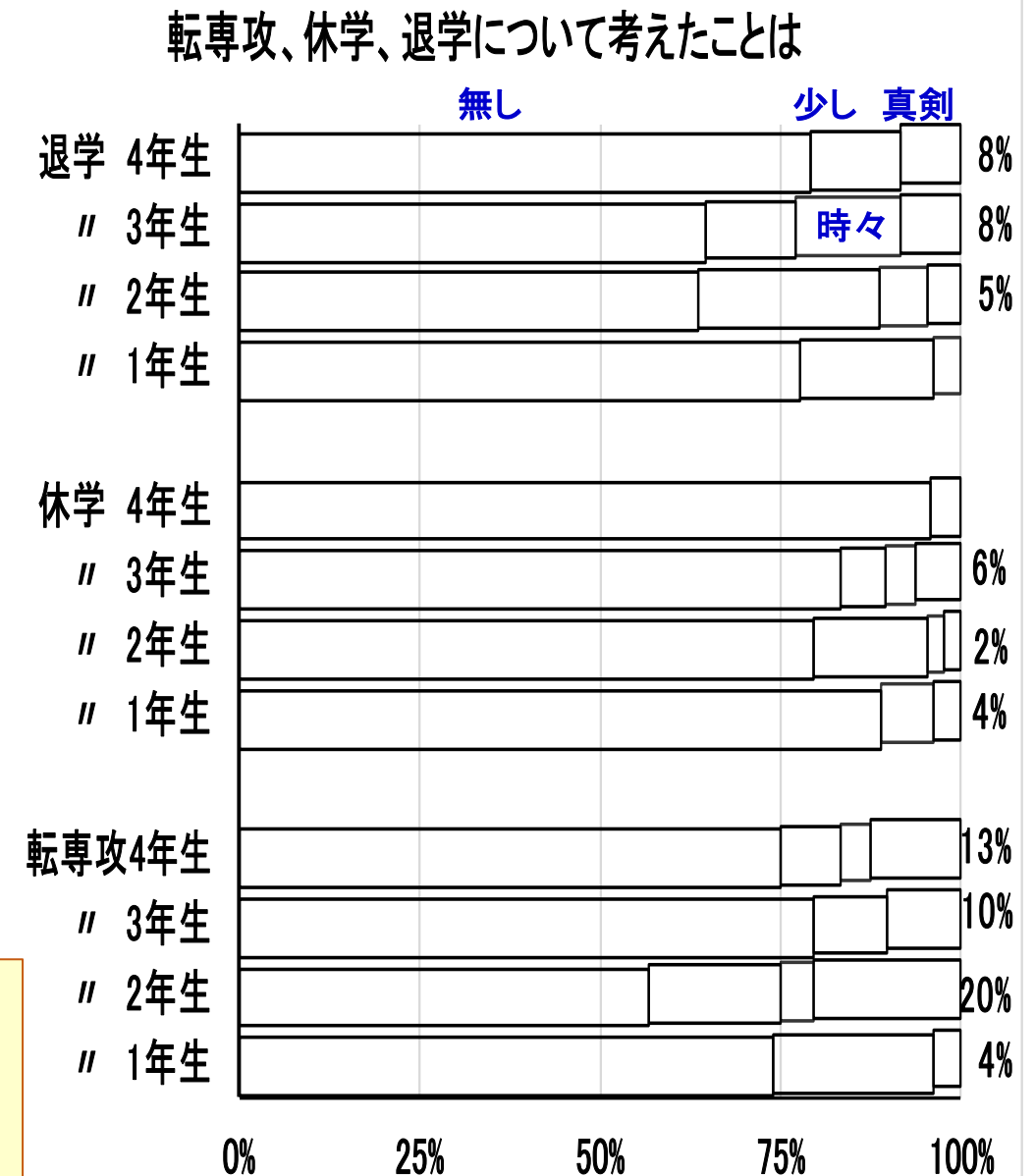
転専攻、休学、退学について考えたことは



➤ 学籍異動について「時々／真剣に」考えたは、転専攻14%、休学6%、退学13%であった。

※質問の期間を2021年度に限定していないので、在学中の経験と理解して回答した学生の存在もあり得る。

転専攻、休学、退学について考えたこと -学年別-



転専攻・休学・退学について考えた最大の理由は (1つ選択)

